

丸亀市文化芸術基本計画 実施計画 評価参考資料

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
	1	瀬戸内文化芸術支援事業費	HOTサンダルプロジェクト事業	318	37
	1	2 文化芸術振興事業費	文化協会育成事業	318～320	37
	1	2 文化芸術振興事業費	文化振興事業	318～320	37
	1	2 文化芸術振興事業費	まるがめ文化芸術祭運営事務	318～320	37
	1	2 文化芸術振興事業費	文化功労者等表彰	318～320	37
	1	3 「津島寿一」文化振興補助金	文化協会事業補助	320～321	37
	1	4 綾歌総合文化会館管理運営費	綾歌総合文化会館指定管理 等	322	38
	1	5 綾歌総合文化会館施設整備費	綾歌総合文化会館施設改修 等	324	38
	1	6 市民交流活動センター施設管理運営費	市民交流活動センター指定管理 ・来館者数796,749人	59	48
	1	7 学習センター施設管理運営費	生涯学習センター指定管理 ・利用人数 等	326～327	40
	1	7 学習センター施設管理運営費	飯山総合学習センター指定管理 ・利用人数 等	326～327	40
	1	8 生涯学習推進事業費	生涯学習推進事業 ・市民講座実施回数：94回、参加人数：11,325人	286～288	40
	1	9 公民館管理運営費	公民館運営 ・活動回数 等	292～293	40
	1	10 コミュニティセンター運営費	コミュニティセンター指定管理 ・利用人数：234,377人	64	49
	1	11 コミュニティ推進費	地区コミュニティ運営助成	65	49
	1	12 私学等振興費	芸術家派遣事業費補助 ・利用施設数2施設、実施回数5回、参加人数127人	280	2
	1	13 私立保育園等援助費	芸術家派遣事業費補助 ・利用施設数12施設、実施回数48回、参加人数1,059人	136～137	6
	2	1 美術館管理運営費	猪熊弦一郎現代美術館指定管理	305	37
	2	1 美術館管理運営費	地域の芸術環境づくり補助 等	305	37
	2	2 美術館施設整備費	猪熊弦一郎現代美術館施設改修 等	305～306	37
	3	1 新市民会館整備事業費	イベント等開催業務委託	322～323	38
	3	1 新市民会館整備事業費	課題解決型実践事業業務委託	322～323	38
	3	1 新市民会館整備事業費	文化芸術推進サポーター養成講座開催業務委託	322～323	38
	3	1 新市民会館整備事業費	アーティスト・コーディネーター育成業務委託	322～323	38

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
	3	2 新市民会館開館準備事業費	新市民会館開館準備業務委託	323	38
	3	3 新市民会館建設事業費	新市民会館建設工事	324～325	38
	3	4 商工業振興事業費	丸亀うちわミュージアム管理運営事業 ・来館者数：25,949人	202～203	26
	3	4 商工業振興事業費	香川県うちわ協同組合連合会補助	202～203	26
	3	4 商工業振興事業費	青木石材協同組合補助	202～203	26
	3	4 商工業振興事業費	伝統的工芸品産業産地補助 ・補助件数：1件	202～203	26
	3	5 丸亀うちわ産業発展支援事業費	丸亀うちわ産業発展支援事業補助	204	26
	3	6 観光振興事業費	丸亀お城まつり開催事業等業務委託 ・来場者数：230,000人	206～207	27
	3	6 観光振興事業費	あやうたふるさとまつり開催補助 ・来場者数：4,500人	206～207	27
	4	1 資料館管理運営費	資料館施設管理、運営、企画展示 ・入場者数：22,703人	302～303	35
	4	2 京極家資料調査・修復等事業費	京極家資料修復等業務 ・レプリカ作成件数：6件	304	35
	4	3 文化財保護事業費	史跡塩飽勤番所跡指定管理 ・入場者数：3,295人	307～308	36
	4	3 文化財保護事業費	文化財保護協会補助 ・補助金400千円	307～308	36
	4	3 文化財保護事業費	坂本念仏踊保存会補助 補助金180千円	307～308	36
	4	3 文化財保護事業費	公益財団法人中津万象園保勝会補助 補助金5,000千円・入場者数：64,132人	307～308	36
	4	4 埋蔵文化財調査事業費	発掘作業 件数：11件（確認調査10件・試掘調査1件）	308～309	36
	4	5 埋蔵文化財整理事務所施設費	埋蔵文化財整理事務所施設管理業務	309	36
	4	6 史跡丸亀城跡整備推進費	丸亀城天守管理及び徴収事務委託料 ・入城者数：124,978人	310	36
	4	7 丸亀城天守耐震診断事業費	重要文化財丸亀城天守耐震診断業務委託	317	36
	4	8 まち並み保存推進費	笠島まち並み保存センター等指定管理等 ・来訪者数：1,007人	310～311	36
	4	9 古墳等整備推進費	史跡快天山古墳維持管理	311～312	36
	4	10 丸亀城保存整備費	丸亀城石垣復旧事業 ・進捗率：43%	312～313	36
	4	11 城泊事業準備事業費	城泊事業準備補助	309	36
	4	12 まち並み保存事業費	笠島伝統的建造物群保存修理事業 ・修理事件数：6件（修理3件・修景3件） ・防災施設整備 防火水槽設置	314	36
	4	13 史跡快天山古墳整備事業費	快天山古墳保全整備計画策定に伴う発掘作業等 ・進捗率：27%	315	36

基本 方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
4	14	市指定文化財整備事業費	市指定文化財保存修理 ・修理件数：1件	315	36
4	15	丸亀城石垣保全調査事業費	石垣保全調査業務委託	311	36
4	16	丸亀城石垣保全整備事業費	排水対策工事 等 進捗率：15%	316	36
4	17	商工業振興事業費	丸亀うちわニュー・マイスター認定等事業補助 ・認定数：新規0人（R4：0人・R3：0人・R2：1人・ R1：2人） 認定総数 31人	202～203	26
4	18	学校給食センター管理運営費	学校給食センター運営 ・郷土料理の提供回数：中央学校給食センター 41回 第二学校給食センター 38回 飯山学校給食センター 43回 本島学校給食センター 38回	336～337	3
5	1	瀬戸内国際芸術祭事業費	瀬戸内国際芸術祭作品管理等業務委託	321	37
5	1	瀬戸内国際芸術祭事業費	瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会	321	37
5	2	国際交流事業費	外国人受入環境整備事業 ・日本語教室回数・参加者数：98回・1079人	63	27
5	2	国際交流事業費	多文化交流事業 ・写真パネル展：2回 ・異文化理解・多文化共生講座：5回	63	27

令和 5 年 度

主要施策の成果に関する
報 告 書

丸 亀 市

自治会活動応援補助金 (5自治会)	138
自治会防犯灯電気代	12,014
会計年度任用職員報酬等 (1人)	1,227
自治会区域図Shape変換業務委託料	358
自治会回覧板作成費	209
事務費等	597

事業の成果・課題

自治会活動応援補助金を活用し、絆づくりに取り組む自治会が増えた。また、防犯灯の電気代助成や育成費補助金に加え、令和5年度は自治会の異動届に電子申請を追加し、自治会の負担軽減や自主的な活動支援に努めた。新規分譲地への自治会加入の働きかけを行う等、自治会加入率の維持・向上に取り組んだ。

5	事業名	市民交流活動センター施設管理運営費				担当課	地域づくり課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	139,499	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源	141,776
R4	140,267	0	0	0	11,368	128,131	執行率
R3	138,732						98.39 %

事業の趣旨・目的

市民交流活動センター (マルタス) の管理運営を行う。

実施事業の内容

光熱水費等 (立替払…電気代、ひかり電話分、水道代)	9,763
指定管理業務委託料	129,700
看板製作業務委託料	36

※マルタス利用状況

項 目	実 績
開 館 日 数	364 日
来 館 者 数	796,749 人
市民活動団体主催 活動実施件数	951 件
マルタス自主企画 活動実施件数	201 件
市民活動についての相談件数	801 件
市民活動登録件数	246 件

事業の成果・課題

マルタスでは、市民活動団体等に活動および相談場所としての認識が深まり、年間を通じて多くの活動等が実施された。マルタスの自主企画では、市民活動団体等の組織力強化に向けて、助成金や情報発信に関するセミナーのほか、活動者同士の情報や意見交換の場となる交流会を開催した。また、マルタスのホームページに活動者向けのページを新たに追加し、助成金情報の発信にも力を入れた。

引き続き、市民活動者への支援に重点を置き、様々な主体の協働の場となるよう取り組むとともに、適切な施設管理を行っていく。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	15	国際交流費
1	事業名	国際交流事業費				担当課	秘書課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	14,625	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	14,704	
R4	8,712	3,800	0	0	2,525	8,300	執行率	
R3	8,162						99.46 %	
事業の趣旨・目的								
国際交流や都市間交流を支援するとともに、外国人住民と共に暮らす環境を整える。								
実施事業の内容								
丸亀市国際交流協会補助金							3,910	
香川県国際交流協会負担金							58	
業務委託料							10,405	
外国人窓口対応等業務委託料						7,600		
外国人相談件数 2,026件								
国際交流関連委託料（コンサルティング・翻訳業務）						300		
市代表団ヴィリッヒ市派遣事業委託料						2,432		
交流都市紹介コーナーパネル追加業務委託料(ヴィリッヒ市分)						73		
事務費等							252	
《外国人受入環境整備事業》								
日本語教室 水曜教室（2クラス）48回 延べ 885人								
日曜教室（1クラス）50回 延べ 194人								
事業の成果・課題								
市代表団を派遣し、ヴィリッヒ市と姉妹都市協定を締結した。今後は張家港市、サンセバスティアン市も含めた都市交流事業について時代に合った手法に見直し、調整を行っていく。また国際交流協会の職員を1名増員することで体制の強化を図り、近年、専門的かつ複雑化する在住外国人の相談業務にあたりるとともに、各種講座等の開催においては他団体と連携して事業を実施した。今後も、多文化共生社会の実現に向け取り組んでいく。								

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	16	コミュニティ費
1	事業名	コミュニティセンター運営費				担当課	地域づくり課	
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源を含む）					予算現額	
R5	153,474	国支出金	県支出金	地方債	手数料	一般財源	157,730	
R4	150,690						執行率	
R3	142,760	0	0	0	19	153,455	97.30 %	
事業の趣旨・目的								
地域の活動拠点であるコミュニティセンターの管理運営を指定管理者制度により地域コミュニティに委託し、自主的な施設の管理運営により、円滑な地域活動を支援する。								
実施事業の内容								
会計年度任用職員報酬等(2人)							5,064	
施設管理委託料							941	
指定管理委託料							139,064	
城北コミュニティセンター					8,979			
城坤コミュニティセンター					7,723			
飯山北コミュニティセンター					7,494			
富熊コミュニティセンター（ゆうとぴあ綾歌含む）					15,049			
城西コミュニティセンター					9,119			
城乾コミュニティセンター					9,036			
土器コミュニティセンター					8,436			
飯野コミュニティセンター					8,623			
川西コミュニティセンター					8,720			
飯山南コミュニティセンター					8,920			
城南コミュニティセンター					9,041			
郡家コミュニティセンター					8,451			
垂水コミュニティセンター					8,783			
栗熊コミュニティセンター					9,428			
岡田コミュニティセンター					11,262			
土地借上料							147	
施設修繕費							5,473	
工事請負費							1,513	
AED借上料等							518	
事務費等							754	
事業の成果・課題								
地域活動の拠点として、島しょ部を除く15地区のコミュニティセンターの管理運営を、指定管理者制度により各地区のコミュニティに委託し、適正な管理運営を行うことができた。								

2	事業名	コミュニティ推進費				担当課	地域づくり課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	51,858	国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	53,206
R4	46,457	0	0	0	8,158	43,700	執行率
R3	47,743						97.47 %

事業の趣旨・目的

地区コミュニティの事業運営経費に資するため補助金を交付することにより、コミュニティの活動推進を図る。

実施事業の内容

地区コミュニティ運営助成金 (17コミュニティ)	43,101
一般財団法人 自治総合センター 一般コミュニティ助成事業補助金 (3コミュニティ:土器・城坤・岡田)	6,700
コミュニティまちづくり補助金 (4コミュニティ:飯野、飯山南、城南、川西)	1,200
市コミュニティ協議会連合会補助金	640
事務費等	217

事業の成果・課題

地区コミュニティに対し、運営助成金やまちづくり補助金、また自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織としての運営や、地域性を活かした活動を推進している。各地域においては、創意工夫をしながら各種イベントや行事を行い、地域色豊かなコミュニティ活動を展開している。

市コミュニティ協議会連合会においては、会報「みんなの丸亀」を発行し、地区コミュニティの活動や取組について情報発信を行った。

3	事業名	コミュニティセンター整備事業費				担当課	地域づくり課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	1,086	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,091
R4	43,640	0	0	0		1,086	執行率
R3	246,854						99.54 %

事業の趣旨・目的

心ふれあうまちづくりを推進するため、コミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの整備を行う。

実施事業の内容

飯山北コミュニティセンター整備事業費	1,086
手数料	591
建設工事関連委託料	495

事業の成果・課題

施設の老朽化や耐震強度不足等に対応するため、飯山北コミュニティセンター建設工事に伴う工事関連委託を行うなど、コミュニティセンターの整備により、地域住民の利便性向上を図った。

【参考】市外施設入所児童数(令和6年3月)

事業所内 保育所	オリーブガーデン(坂出市)	0歳児:2名、1歳児:1名、2歳児:2名
	堀江保育所(多度津町)	1歳児:1名
	ポエム保育園(善通寺市)	0歳児:1名
	いちご保育園(三木町)	1歳児:1名
	なでしこ保育園(岡山県)	1歳児:1名
こども園	坂出一高幼稚園(坂出市)	5歳児:1名
	ルンビニ幼稚園(坂出市)	2歳児:1名、3歳児:4名、4歳児:4名 5歳児:4名
	青山幼稚園(宇多津町)	3歳児:1名、4歳児:4名、5歳児:2名
	香川短期大学附属幼稚園(宇多津町)	2歳児:12名、3歳児:15名、4歳児:20名 5歳児:21名
	くれよんこども園(観音寺市)	5歳児:1名
	香川短期大学附属のぞみこども園(善通寺市)	2歳児:1名、5歳児:1名
	聖徳幼稚園(山梨県)	5歳児:1名

(※入所児童の年齢は令和5年3月31日現在)

事業の成果・課題

国の幼児教育・保育の無償化、女性の就業率向上等により保育ニーズが高まる中、保育士修学資金の貸付等による成果も見られ、私立園における入所児童数は増加傾向にある。引き続き私立園に対する支援により、連携して待機児童の解消を目指していく。

3	事業名	私立保育園等援助費				担当課	幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	262,745	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	287,445
R4	314,763	19,810	18,711	0		224,224	執行率
R3	239,256						91.41%

事業の趣旨・目的

私立認可保育園・認定こども園の保育環境の向上や保育士確保のほか、当該施設を利用する子どもの給食費を免除することを目的として、当該私立園に対して助成する補助金や、私立認可保育園が整備した施設に係る資金調達で発生した利子の補給金、地域子育て支援拠点事業(旧センター型)、一時預かり事業、延長保育等の特別保育事業に要する経費を助成する。

実施事業の内容

私立保育園等運営補助金	204,560
私立保育園等運営補助金(17園)	59,291
障がい児保育事業費補助金(12園)	76,557
補足給付費補助金(私立給食費)	67,245
保育環境改善事業等補助金(1園)	200
芸術家派遣事業費補助金(12園)	1,267
私立保育園施設整備事業利子補給金(1園)	4

特別保育事業費		58,181
保育所等地域活動事業委託料	(14園)	3,500
地域子育て支援拠点事業(旧センター型)委託料	(4園)	36,109
一時預かり事業委託料	(3園)	11,214
延長保育事業委託料	(15園)	7,358

事業の成果・課題

私立保育園等への運営費補助や障がい児保育における加配保育士の配置支援により保育環境の向上のほか、芸術家派遣への補助金を継続し、子どもの感性を育む取組を支援している。また、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、延長保育事業等の特別保育事業により、子育て世帯の多様なニーズに応えていく。

4	事業名	子育て支援事業費				担当課	教育部総務課 幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	44,240	国支出金	県支出金	地方債	保育料等	一般財源	46,599
R4	40,920	11,059	11,059	0	1,962	20,160	執行率
R3	36,776						94.94 %

事業の趣旨・目的

家庭保育をしている子育て家庭への支援のため、公立保育所において地域子育て支援拠点事業(旧センター型)を実施するほか、保護者が出産等の理由(一時的な理由)で家庭保育ができない場合に対応するため、公立保育所・こども園において一時預かり事業を実施する。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、一時預かり事業利用者に対し、施設等利用給付を行う。

実施事業の内容

地域子育て支援拠点事業費(旧センター型)	(公立保育所3園)	26,210
会計年度任用職員報酬等(8人)	19,780	
施設管理委託料(園舎等清掃委託ほか7件)	1,465	
その他	4,965	
一時預かり事業費(公立保育所・こども園3園)		18,030
会計年度任用職員報酬等(6人)	17,634	
一時預かり事業利用料給付費	60	
その他	336	

事業の成果・課題

在宅で子育てに取り組む保護者が孤立しないよう、子育て支援センターにおいて育児相談や子育てに関する情報提供などを行い、子育て家庭に寄り添うことができた。また、多様な保育ニーズに対応するため、公立園においても一時預かり事業を実施している。

いずれも保護者のニーズが高いことから、サービスのさらなる充実に努めていく。

5	事業名	保育所等職員教育研究事業費				担当課	幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	4,184	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	4,294
R4	3,263	0	0	0		4,184	執行率
R3	3,179						97.44 %

事業の趣旨・目的

最新の研修等を受け、研鑽を積み、公立保育所・認定こども園職員の保育資質向上を図る。

事業の成果・課題

令和5年度に新設した「創業支援事業補助金」の交付実績は7件であったほか、各支援機関と連携した「スタートアップセミナー」や「創業塾」、「フォローアップ事業」の創業支援事業を実施した。今後も引き続き関係機関と連携し、創業準備の段階から創業後も切れ目ない支援を行っていく。

また、コロナ禍を脱したこともあり、市内の全ての公立中学校で地元企業PR事業を実施することができた。

さらに、前年度に引き続き、企業紹介サイト・中小企業支援ガイドブックの作成、インターンシップ事業の開催、産業振興支援補助、空き店舗空きオフィス等活用促進補助などの実施のほか、地域経済の発展及び雇用機会の拡大に寄与する企業立地促進奨励金を交付した。

今後も企業訪問専門員による企業訪問等により、事業者の課題やニーズを把握し、必要な施策について検討・実施していく。

3	事業名	商工業振興事業費					担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	32,916	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	33,539	
R4	27,097	0	0	0	2,000	30,916	執行率	
R3	23,045						98.14 %	

事業の趣旨・目的

商工業の振興、中心市街地の活性化、産学官の連携を図るため、関係団体の事業運営に対し補助するもの。

実施事業の内容

丸亀商工会議所運営補助金	6,000
丸亀市飯綾商工会運営補助金	5,000
丸亀TMO運営等補助金	1,100
産学支援等事業補助金	350
キッズウィーク推進補助金	300
丸亀商工会議所小規模事業者対策補助金	2,000
丸亀市飯綾商工会小規模事業者対策補助金	1,000
FACE21運営協議会負担金	700
丸亀市中央商店街振興組合連合会補助金	700
丸亀うちわパンフレット印刷製本費（5,000部）	448
香川県うちわ協同組合連合会補助金	1,650
青木石材協同組合補助金	220
伝統的工芸品産業産地振興事業補助金	374
丸亀うちわニュー・マイスター認定等事業補助金	300
丸亀うちわミュージアム運営業務委託料	3,200
丸亀うちわミュージアム施設管理費等	1,829
丸亀うちわミュージアム2階照明器具増設工事費	297
丸亀うちわミュージアムイベント事業補助金	1,852
丸亀うちわミュージアム賃貸料	5,400
備品購入費	196

事業の成果・課題

各種関係団体と連携し、商工業の振興、中心市街地の活性化等を図ることに努めた。
 丸亀うちわミュージアムが中津万象園に移転したこともあり、中津万象園との連携事業として「丸亀うちわフェスタ」を実施したほか、産学支援等事業では、地元農産物のPRや食品ロスの削減などを目的に、香川短期大学や香川県農業協同組合と連携し、形や大きさが規格外のため、市場に流通できない地元農産物等を用いて、食品レシピの開発に取り組んだ。
 各補助団体においては、自主財源の確保に努め、組織として自立化を図るとともに、事業成果を常に検証し、社会・経済情勢、会員ニーズ等を的確に捉えた事業展開を推進できるように、積極的な指導・助言等を行っていく。

4	事業名	産業活性化事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,444	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,459
R4	—	0	0	0		9,444	執行率
R3	—						99.84 %

事業の趣旨・目的

まるがめ娑婆羅花火ファンタジアinレオマを実施することで、観光振興や経済効果を図る。

実施事業の内容

まるがめ娑婆羅花火ファンタジアinレオマ業務委託料 9,400
 会場借上料等 44

開催日当日のレオマリゾート入園者数 8,953人
 《開催日：令和5年8月26日（土）》

事業の成果・課題

令和5年度に初めて開催した「まるがめ娑婆羅花火ファンタジアinレオマ」では、音楽や光、オーロラショーの演出がある約3,200発の花火を実施した。

5	事業名	商工業振興融資事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	171,612	国支出金	県支出金	地方債	預託金返還金	一般財源	172,550
R4	172,759	0	0	0	165,000	6,612	執行率
R3	172,057						99.46 %

事業の趣旨・目的

中小企業者、団扇業者の事業活動に必要な資金を融資することにより、経営の安定と中小企業・団扇産業の振興を図る。また、新規に事業を開始しようとする者を支援し、事業者の育成と振興を図る。

実施事業の内容

融資等事務業務委託料 2,300
 中小企業融資預託金 105,000
 " 保証料負担金 189
 " 保証料補給金 1,170
 " 利子補給金 1,849

〈令和5年度貸付実行状況〉					
件 数		34 件			
金 額		137,450 千円			
小規模事業者経営改善資金利子補給金				45	
団扇工業振興融資預託金				45,000	
〃 保証料補給金				472	
〃 利子補給金				438	
〈令和5年度貸付実行状況〉					
件 数		1 件			
金 額		45,000 千円			
創業支援融資預託金				15,000	
〃 利子補給金				149	
〈令和5年度貸付実行状況〉					
件 数		1 件			
金 額		4,300 千円			

事業の成果・課題						
中小企業融資については、令和4年度とほぼ同数の融資件数であった。今後も市民（企業）ニーズを検証し、必要に応じて、制度の見直しを行っていく。						

6	事業名	丸亀うちわ産業発展支援事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,556	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,000
R4	1,280						執行率
R3	—	0	778	0		778	77.80 %

事業の趣旨・目的						
香川県うちわ協同組合連合会が行う販路開拓、人材育成、技術の伝承等に要する経費等を補助することにより、丸亀うちわ産業の振興に寄与することを目的とする。						

実施事業の内容						
丸亀うちわ産業発展支援事業補助金						1,556

事業の成果・課題						
香川丸亀国際ハーフマラソン大会などのスポーツ大会において、出場者や関係者等に記念用や応援用うちわを配布したことで、県内外の方へ「丸亀うちわ」をPRすることができた。						
また、配布用うちわの製作を研修生にも担ってもらい、将来の後継者としての意欲と技術の向上を図った。						

(単位:千円)

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
1	事業名	観光宣伝費				担当課	産業観光課	
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	39,070	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	39,381	
R4	35,126						執行率	
R3	34,105	0	0	0		39,070	99.21 %	
事業の趣旨・目的								
観光案内及び情報発信を行い、また本市の魅力を宣伝し誘客を図るため、観光案内所等のサービス向上に努め、各観光協議会と連携しPRを積極的に行う。								
実施事業の内容								
※一般財源のうち、入湯税22,874を充当								
修繕料（本島パークセンター浄化槽、公用車車検代他）							661	
観光案内所管理運営委託料							25,000	
観光宣伝事業委託料							4,095	
丸亀市本島パークセンター施設管理運営委託料							3,245	
自然公園美化清掃事業費							850	
さぬき瀬戸大橋広域観光協議会会費							490	
わがかがわ観光推進協議会負担金							1,409	
日本政府観光局賛助会員負担金							300	
自転車活用推進全国市区町村長の会負担金							10	
讃岐ジオパーク構想推進準備委員会会費							30	
観光協会運営補助金							6,795	
事務費等							280	
事業の成果・課題								
新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、インバウンド客がコロナ禍前の状況に戻りつつある。そこで、市観光協会においては、飲食店への支援として、メニューを多言語に翻訳するサービスを開始し、インバウンド客の受入れ環境の整備を図った。また、本市の観光戦略を推進する上で、市と観光協会で重複している観光事業については、観光協会に一本化し、市が観光戦略の企画や立案、市民対応等の部門を担うことにより、それぞれが専門性を生かした運営を進めていく。そちらを進めるにあたり、観光協会の事務局機能強化として、人的・財政的な面での支援を行った。								
2	事業名	観光振興事業費				担当課	産業観光課	
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	33,303	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	33,370	
R4	32,985						執行率	
R3	8,756	0	0	0	1,320	31,983	99.80 %	
事業の趣旨・目的								
丸亀お城まつりや丸亀城菊花展、あやうたふるさとまつりなどの地域イベントや観光資源等の活用を図り、丸亀市全体の観光振興につなげていく。安心・安全で快適な観光ができるよう、観光資源の安全対策等を行い、本市への観光客の受け入れ態勢を整える。								

実施事業の内容

屋釜海水浴場光熱水費	113
観光振興事業委託料	28,450
屋釜海水浴場管理費	455
丸亀お城まつりにかかる仮設テント等設営撤去業務委託料	3,590
丸亀城菊花展開催費	1,419
期 日 令和5年10月21日～11月13日	
入込客数 24,468 人	
丸亀さつき愛好会補助金	200
さつき展 令和5年5月19日～22日	
盆栽展 令和5年12月4日～6日	
丸亀お城まつり開催業務委託料	20,000
期 日 令和5年5月3日～4日	
入込客数 230,000 人	
サメ対策事業費、遊泳区域ブイ設置撤去業務委託料	2,786
あやうたふるさとまつり開催補助金	3,420
期 日 令和5年11月4日～5日	
入込客数 4,500 人	
丸亀にぎわいプロジェクト補助金	1,320
①ワクワク体験 Kids王国in丸亀	
期 日 令和5年10月14日	
入込客数 3,000 人	
②四国家のお宝 丸亀のジオ×まちづくり	
期 日 令和5年6月10日, 17日	
参加者 42 人	
③丸亀大文化祭高校生シンポジウム	
期 日 令和6年2月17日	
参加者 60 人	

事業の成果・課題

本市最大イベントである丸亀お城まつりは、コロナ禍前の規模に戻して開催し、2日間で延べ23万人の入込客数となった。また、あやうたふるさとまつりも開催できたが、本島・広島の海水浴場の海開きは中止となった。今後、県内外から誘客できるイベントの開催や観光資源の環境整備に努める。

3	事業名	観光開発事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	28,609	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	28,730
R4	29,050				6,617	21,992	執行率
R3	30,935	0	0	0			99.58 %

事業の趣旨・目的

本市既存の観光資源の有効活用、おもてなし事業の充実を図り、交流人口及び滞在型、回遊型観光の増加につなげる。うちわ、桃、骨付鳥等の地域資源を活用し、知名度向上や販路拡大支援を目的として、各種イベント、物産事業、商談会に参加し、消費拡大による地域経済の活性化を図る。

4	事業名	私学等振興費				担当課	幼保運営課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	59,561	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	64,176
R4	56,430	13,326	8,894	0		37,341	執行率
R3	53,413						92.81 %
事業の趣旨・目的							
私立幼稚園の園児の処遇向上や当該施設を利用する子どもの給食費の免除を目的として助成する市単独の補助金のほか、様々なライフスタイルに合わせて児童の保育形態を提供するため、私立幼稚園が実施する一時預かり事業に要する経費を助成する。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、幼稚園の預かり保育利用者に対し、施設等利用給付を行う。							
実施事業の内容							
私立幼稚園運営補助金							28,807
私学振興補助金（私立幼稚園2園）						3,207	
障がい児保育事業費補助金（1園）						2,539	
補足給付費補助金（私立給食費）						22,929	
芸術家派遣事業費補助金（2園）						132	
特別保育事業費							30,754
一時預かり事業費（一般型）委託料（私立幼稚園1園）						3,146	
一時預かり事業費（幼稚園型）委託料（私立幼稚園3園）						10,037	
私立幼稚園預かり保育利用料給付費						17,571	
事業の成果・課題							
私立幼稚園への運営費補助や障がい児保育における特別教育支援員の配置支援により保育環境の向上に寄与したほか、芸術家派遣への補助金を支給し、子どもの感性を育む取組を支援することができた。また、給食費の無償化を継続して実施することにより、子育て世帯における負担軽減に寄与できた。その他、一時預かり事業についてもコロナ禍の収束による影響もあったが、利用者の増加に対応している。							

事業の成果・課題

少年団体連絡協議会においては、「子どものために知っておきたい多様性とジェンダー平等」というテーマで研修会を開催し、男女平等や多様性への理解が深まった。

親子都市である京極町との交歓研修では、京極町から10名の子どもたちを受け入れ、京極高朗公の墓所を訪れるなど、両市町の歴史を学ぶ機会を通して、子ども同士の親交を深めることができた。

また、少年体験活動事業は、様々な年齢層や立場の人たちと関わりながらキャンプやクラフト制作などの活動を通し、子どもたちのコミュニケーション能力や責任感、協調性などを育む機会を提供できた。

今後は体験活動の充実を図るとともに、市民活動団体や文化芸術活動団体等と連携し、活動の担い手育成にも積極的に取り組む。

6	事業名	二十歳の成人式開催事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,633	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,639
R4	1,707	0	0	0		2,633	執行率
R3	1,464						99.77 %

事業の趣旨・目的

二十歳に達した者を祝い励ますとともに、大人としての権利と義務、責任を自覚させることを目的に、二十歳の成人式を開催する。

実施事業の内容

印刷製本費	1,188
式典委託料	1,007
会場借上料	367
事務費等	71

事業名	開催日	場 所	該当者数(人)	参加者数(人)
令和6年丸亀市二十歳の成人式	令和6.1.7	アイレックス	1,099	876

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、コロナ禍前に行っていたアトラクションや集合写真の撮影を再開することができた。会場の様子は家族などにも共有できるよう動画で配信した。

また、参加者に配布した恩師からのメッセージ集には香川県が作成した若手社員のインタビュー記事や地元企業の情報を掲載し、地元へのUターン就職を促した。

7	事業名	生涯学習推進事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	647	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	780
R4	23	0	0	0		647	執行率
R3	60						82.95 %

事業の趣旨・目的

市民講座や地域いきいき講座を実施し、学習機会の提供を行う。

実施事業の内容

市民講座等講師謝金 (15件)	132
印刷製本費	312
市民学級パンフレット配布等業務委託料	130
事務費等	73

市民講座の実施状況

事業名		(参考) R4 講座数	R5 講座数	R5 延開催数(回)	R5 受講者数(人)
市民学級	一般講座	13	14	156	346
	特別教養講座	8	10	37	264
	子ども講座	4	4	28	66
	提案型講座	7	6	14	74
指定管理者自主事業		66	60	713	10,575
合計		98	94	948	11,325

開催場所：生涯学習センター、飯山総合学習センター他

各コミュニティで実施する地域いきいき講座の状況

施設名	回数 (回)	延受講者数 (人)
城北コミュニティセンター	5	160
城西コミュニティセンター	18	1,004
城乾コミュニティセンター	5	80
城坤コミュニティセンター	13	451
城南コミュニティセンター	0	0
土器コミュニティセンター	21	558
飯野コミュニティセンター	33	661
川西コミュニティセンター	13	577
郡家コミュニティセンター	7	227
垂水コミュニティセンター	105	1,050
本島コミュニティセンター	10	127
広島コミュニティセンター	17	271
栗熊コミュニティセンター	22	542
岡田コミュニティセンター	21	1,312
富熊コミュニティセンター	9	577
飯山南コミュニティセンター	35	724
飯山北コミュニティセンター	45	1,514
合計	379	9,835

地域いきいき講座：379講座中15講座の講師謝金を予算より支出

事業の成果・課題

市民学級や地域いきいき講座の受講者数は、コロナ禍前の水準まで回復した。また市民学級では、子育て世代を対象としたオンライン講座を実施したが、様々な年代にも提供できるよう講座内容や周知方法等を検討したい。また、地域の生涯学習推進員と連携し、市民のニーズや講師の情報などを新たに収集・提供し、講座内容の充実を図りたい。

8	事業名	放課後子どもプラン事業費					担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額	
R5	214,216	国支出金	県支出金	地方債	保育料	一般財源	216,593	
R4	182,131	47,143	49,903	0	66,503	50,667	執行率	
R3	166,380						98.90 %	

事業の趣旨・目的

放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な居場所を設けて、子どもたちが多様な体験・活動を行うことができるよう、環境づくりを推進する事業である。

実施事業の内容

(1)	放課後留守家庭児童会事業費	206,030
	放課後留守家庭児童会運営業務委託料	187,478
	備品購入費	1,352
	光熱水費	3,262
	過年度補助金返還金	3,142
	防災頭巾購入	4,554
	その他経費	6,242
(2)	放課後子供教室事業費	8,186
	放課後子どもプラン運営委員等報償費	6,614
	運営委託料	1,562
	その他経費	10

留守家庭児童会入会児童数 (33教室)

(R6.3.31 在籍数)

城乾第1 青い鳥教室	35 人	郡家第1 青い鳥教室	50 人
城乾第2 青い鳥教室	18 人	郡家第2 青い鳥教室	54 人
城坤第1 青い鳥教室	50 人	郡家第3 青い鳥教室	43 人
城坤第2 青い鳥教室	79 人	飯野第1 青い鳥教室	51 人
城坤第3 青い鳥教室	51 人	飯野第2 青い鳥教室	33 人
城北青い鳥教室	63 人	垂水第1 青い鳥教室	24 人
城西第1 青い鳥教室	50 人	垂水第2 青い鳥教室	25 人
城西第2 青い鳥教室	65 人	垂水第3 青い鳥教室	30 人
城南第1 青い鳥教室	51 人	岡田第1 青い鳥教室	43 人
城南第2 青い鳥教室	49 人	岡田第2 青い鳥教室	20 人
城南第3 青い鳥教室	48 人	栗熊青い鳥教室	25 人
城南第4 青い鳥教室	49 人	富熊青い鳥教室	45 人
城東第1 青い鳥教室	52 人	飯山南第1 青い鳥教室	55 人
城東第2 青い鳥教室	31 人	飯山南第2 青い鳥教室	23 人
城東第3 青い鳥教室	55 人	飯山北第1 青い鳥教室	68 人
城辰第1 青い鳥教室	37 人	飯山北第2 青い鳥教室	56 人
城辰第2 青い鳥教室	28 人	児童数計	1,456 人

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
1	事業名 公民館管理運営費					担当課	まなび文化課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	6,523	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,563	
R4	6,202						執行率	
R3	5,756	0	0	0		6,523	99.39 %	
事業の趣旨・目的								
公民館の管理運営を行うとともに、生涯学習団体の活動を支援し、生涯学習を推進する。								
実施事業の内容								
公民館運営費							6,523	
東小川公民館指定管理委託料							5,755	
東小川公民館長寿命化計画策定業務委託料							543	
生涯学習まつり補助金							180	
県公民館連絡協議会負担金							15	
事務費等							30	
各コミュニティ等で実施する生涯学習クラブ活動の状況								
施設名		生涯学習クラブ						
		クラブ数	会員数 (人)	活動回数 (回)	前年度活動 回数(回)			
生涯学習センター		53	800	1,057	1,178			
東小川公民館		8	105	319	302			
飯山総合学習センター		15	237	408	418			
小計		76	1,142	1,784	1,898			
城北コミュニティセンター		14	157	562	551			
城西コミュニティセンター		15	199	723	747			
城乾コミュニティセンター		9	107	247	211			
城坤コミュニティセンター		21	367	720	760			
城南コミュニティセンター		22	342	762	722			
土器コミュニティセンター		25	344	696	649			
飯野コミュニティセンター		7	114	282	259			
川西コミュニティセンター		10	113	316	368			
郡家コミュニティセンター		25	345	710	716			
垂水コミュニティセンター		18	278	659	598			
本島コミュニティセンター		0	0	0	0			
広島コミュニティセンター		0	0	0	0			
栗熊コミュニティセンター		10	131	224	221			
岡田コミュニティセンター		24	366	894	924			
富熊コミュニティセンター		16	267	517	525			
飯山南コミュニティセンター		10	128	323	334			
飯山北コミュニティセンター		17	284	439	399			
コミュニティセンター小計		243	3,542	8,074	7,984			
合計		319	4,684	9,858	9,882			

事業の成果・課題

生涯学習施設として重要な役割を担う東小川公民館の長寿命化を図るため、長寿命化計画を策定した。今後は、計画で定める ①利用者の安全確保②コストの縮減③効率的な維持管理の実施④施設の性能向上⑤多様なニーズへの対応 の5つの方針のもと、計画内容を着実に実施し、安全で市民ニーズに沿った行政サービスの提供に努めていく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	少年育成センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-----------

1	事業名	少年育成センター運営事業費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	19,667	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,073
R4	18,706						執行率
R3	18,482	0	0	0		19,667	97.98 %

事業の趣旨・目的

補導・相談・育成の各業務に専門指導員を配置し、各業務の中心的役割を担いながら、関係機関や関係団体、及び学校と連携して少年の健全育成に取り組む。

実施事業の内容

職員給与等	7,552
少年育成センター運営協議会委員報酬 (1回)	63
会計年度任用職員 (少年育成センター所長及び専門指導員) 報酬等 (4人)	11,288
少年育成活動団体補助金	243
その他運営事業費	521

事業の成果・課題

少年育成センター運営協議会委員から意見をいただきながら、関係機関や団体、学校等と連携し業務に取り組むことで、青少年の健全育成を図ることができた。

2	事業名	少年育成センター活動事業費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	3,525	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	3,919
R4	2,041						執行率
R3	1,922	0	48	0		3,477	89.95 %

事業の趣旨・目的

学校・地域・関係機関及び関係団体と連携しながら補導活動・相談活動・健全育成活動を行い、少年の非行や不良行為の防止に取り組むとともに、健全育成のための啓発や地域環境浄化に努める。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	資料館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	資料館管理運営費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	45,177	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	49,226
R4	46,136						
R3	43,183	0	0	0		45,177	91.77 %

事業の趣旨・目的

郷土の歴史・文化に関する調査・研究の成果を広く市民に公開し、歴史遺産の普及・啓発に努める。

実施事業の内容

職員給与等		22,334
資料館学芸委員報酬等 (5人)		40
会計年度任用職員報酬等 (2人)		5,395
光熱水費		3,586
印刷製本費		1,138
委託料		9,016
施設管理業務 (消防用設備点検業務委託料ほか 16件)	5,910	
運営業務 (害虫駆除業務委託料ほか 3件)	208	
企画展示業務 (企画展示用運搬等業務委託料ほか 19件)	2,898	
備品費		653
図書費	12	
郷土資料等購入費	550	
その他	91	
負担金補助金		26
日本博物館協会会費ほか 2件	26	
事務費等		2,989

1階企画展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
市民展 (書道)	57	2	636	318
大西きくゑ遺墨展	58	8	1,243	155
殿様を支えた家臣たち	115	50	4,696	94
愛でる生きものたち	128	42	3,778	90
合 計	358	102	10,353	102

2階常設展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
生駒・山崎・京極の歴史と文化展 (常設展示)	57	230	12,350	54
コーポレーション 表装の美 第二部	18	20	—	—
コーポレーション 新収蔵資料展	51	106	—	—
コーポレーション 過去5年間に寄贈された資料をご紹介します!	11	78	—	—
コーポレーション 京極家と相撲	63	26	—	—
コーポレーション だるまさんが、ならんだ				
合 計	200	230	12,350	54

1階ロビー展 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
変り兜	8	235
令和4年度 城西小4年生校外学習成果の展示	11	29
逢坂貴良さんの切り絵作品 「京極のお殿様と家臣／変身！あなたもお殿様」	2	50

屋外民具展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
団扇・食・住・運搬用具関係民俗資料	203	209
団扇・衣・食・住関係民俗資料	163	26

資料館資料整備状況(令和5年度末現在)

資料館資料整備状況（令和5年度末現在）					
区分	歴 史 資 料				
	古文書 書籍	絵図・地図	絵画・版画	書・短冊	城関係
本年度増加数	45点	1点	30点	62点	4点
現在数	19,804点	895点	2,303点	1,771点	827点

民 俗 資 料		その他の資料			合 計
民俗資料	写真資料	考古資料	建 造 物	工芸品	
27点	13点	0点	0点	0点	182点
10,528点	2,650点	238点	159点	179点	39,354点

資料の特別利用及びレファレンス件数

特別利用 (閲覧・撮影・複写・貸出)	レファレンス等による調査・回答	合 計
52件	109件	161件

事業の成果・課題

令和5年度は、京極家を支えた家臣たちを取り上げた展示や、絵画や工芸で表現された動物たちを紹介し、歴史と美術の2つの分野の企画展に取り組んだ。照明改修工事のため12月から2月末まで休館したが、その間に資料整理や、民具展示室の展示替えを行うなど収蔵資料の保存と活用を図った。

2	事業名	京極家資料調査・修復等事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	2,072	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,209
R4	1,884						執行率
R3	2,486	0	0	0		2,072	93.80 %

事業の趣旨・目的

京極家ゆかりの資料を調査及び修復し広く公開することで、郷土丸亀の歴史教育の一端を担う。

実施事業の内容

印刷製本費	282
委託料 (京極家絵図の表装業務委託料ほか1件)	1,790
	1,790

事業の成果・課題

これまでに修復を終えた京極家の大型絵図の内、利用頻度の高いものからレプリカを作成することで、閲覧による原資料の劣化を防ぎ、郷土資料の調査・研究の利便性を高めた。

3	事業名	資料館施設整備費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	27,485	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	30,000
R4	—						執行率
R3	—	0	0	23,700		3,785	91.62 %

事業の趣旨・目的

資料館施設の照明器具をLEDに改修し、省エネ及び温室効果ガスの削減を図り、ゼロカーボン化に取り組む。

実施事業の内容

委託料	2,175
業務委託料 (民具移動業務委託料ほか 3件)	250
建設工事関連委託料 (設備設計業務委託料ほか 1件)	1,925
工事請負費	25,310
工事費 (照明設備改修工事ほか 7件)	25,310

事業の成果・課題

資料館施設の照明を全館LED化することにより、光熱水費の高騰に対応するほか、省エネルギー及び温室効果ガスの排出軽減を推進することができた。また、展示室の全ての照明に調光機能を付けることで展示資料にあわせた適切な照明を行えるようになり展示環境が向上した。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	美術館費
1	事業名		美術館管理運営費				担当課	まなび文化課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	240,233		国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	240,716
R4	234,698		0	0	0	6,034	234,199	執行率
R3	224,124							99.80 %
事業の趣旨・目的								
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営に関する基本方針及び丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンに基づき、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の管理運営を適正かつ効果的に実施する。								
実施事業の内容								
修繕料								1,450
業務委託料								233,783
美術館指定管理委託料						219,000		
美術館指定管理委託料 (光熱水費追加分)						11,384		
美術館カフェ用備品補修業務委託料						3,399		
補助金								5,000
地域の芸術環境づくり補助金						5,000		
事業の成果・課題								
国内初公開となるテキスタイルの展覧会など話題性のある企画展を開催したことに加え、新型コロナウイルス感染症対策も緩和されたことから、来館者数は75,226人となり、昨年度と比較すると約18,000人増加した。また、造形スタジオでのワークショップ、芸術鑑賞支援事業や「親子でMIMOCAの日」など、子どもたちの来館を促すプログラムを実施し、文化芸術に触れる機会を提供できた。								
引き続き、優れた文化芸術を市民に提供できるよう、質の高い展覧会や多彩なプログラムを提供していく一方、市民に愛され、親しまれる美術館を目指し、市民の来館促進策も検討していく。								
2	事業名		美術館施設整備費				担当課	まなび文化課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	4,620		国支出金	県支出金	地方債		一般財源	4,979
R4	993		0	0	3,300		1,320	執行率
R3	—							92.79 %
事業の趣旨・目的								
施設等の経年劣化については、適正な維持管理を実施する。								
実施事業の内容								
工事費								4,620
地下電気室直流電源装置改修工事								
シャッター改修工事								
空調機器ファンモーター整備工事								

事業の成果・課題

令和5年度は、経年劣化により定期点検等で指摘を受けた箇所の改修工事を行った。長寿命化計画に基づき、大規模改修は実施しているが、大規模改修の対象外とした部分の経年劣化が進んでいるため、ミモカ美術振興財団が策定した「ミモカ中期改修計画」に基づき、順次計画的に対応していく。

3	事業名	美術館施設整備費（繰越明許費）				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,369	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,400
R4	—	0	0	4,700		1,669	執行率
R3	—						99.52 %

事業の趣旨・目的

施設等の経年劣化については、適正な維持管理を実施する。

実施事業の内容

工事費 6,369
受配電設備高圧遮断器他改修工事

事業の成果・課題

経年劣化により停電時の維持管理に支障をきたすおそれがあった施設の改修工事については、令和4年度は一部の資材が不足していたため工期が延長となったが完了した。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	12	史跡等整備費
1		事業名	史跡等整備基金積立金				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	79,123	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	79,123	
R4	49,872	0	0	0	79,000	123	執行率	
R3	31,700						100.00 %	
事業の趣旨・目的								
基金条例に基づき、基金の設置目的に沿った寄附金等を積み立て、後年度の事業に活用する。								
実施事業の内容								
史跡等整備基金積立金							79,123	
事業の成果・課題								
丸亀城応援募金・支援金やふるさと丸亀応援寄附金により集まった寄附金を丸亀城の復旧・整備に活用するため史跡等整備基金に積み立てており、令和5年度は、丸亀城の石垣修復や笠島伝統的建造物群保存修理などの財源として41,988千円を活用し、基金残高は1,546,127千円となった。 引き続き、寄附金を本基金に積み立て、丸亀城の石垣修復事業等の財源として計画的に活用を進める。								
2		事業名	文化財保護事業費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	17,910	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	18,161	
R4	21,228	0	0	0	100	17,810	執行率	
R3	19,403						98.62 %	
事業の趣旨・目的								
市内に所在する文化財の適切な保護に努めるとともに、文化財を研究・学習の教材や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。								
実施事業の内容								
文化財保護審議会委員報酬等 （文化財保護審議会委員5人、指定管理者選定委員3人）							49	
会計年度任用職員報酬等（2人）							4,882	
印刷製本費							634	
修繕料							585	
委託料							5,271	
史跡塩飽勤番所跡指定管理委託料						3,400		
文化財草刈清掃業務委託料（青ノ山古墳群、本島等）						1,256		
指定文化財道標案内板等設置委託料						231		
その他						384		
AED借上料（丸亀城天守・塩飽勤番所跡・まち並保存センター）							107	
負担金						3件	75	

補助金	5,754
文化財保護協会補助金	400
岡田おどり保存会補助金	51
坂本念仏踊保存会補助金	303
公益財団法人中津万象園保勝会補助金	5,000
事務費等	553

文化財保護事業の状況

事業名	回数等	場所	参加者数(人)
文化財保護審議会	1回	丸亀市立資料館会議室	委員5/回
文化財防火デー防火演習・防火査察	1回	丸亀城天守	36

事業の成果・課題

天守、大手一の門、延寿閣別館の城内3施設の施設管理及び活用を担う指定管理者の選定ほか、塩飽勤番所施設の適切な管理、石切丁場の草刈りなどを行った。

3	事業名	埋蔵文化財調査事業費（公共）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,036	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	3,039
R4	5,440	1,470	0	0		1,566	執行率
R3	1,454						99.90 %

事業の趣旨・目的

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為や史跡内の保存整備などを行う際に、あらかじめ範囲内の遺跡の有無を含めた確認調査等を実施し、市内遺跡の適切な保存、活用に努める。

実施事業の内容

印刷製本費	495
発掘作業業務派遣委託料	508
発掘用重機等借上料	1,733
工事請負費	66
事務費等	234

事業の成果・課題

市内の史跡や開発行為地内などの遺跡における確認調査10件と試掘調査1件を実施し、市内の遺跡の適切な保護に努め、それら発掘調査の成果を報告書として刊行した。

4	事業名	埋蔵文化財調査事業費（単独）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	11,059	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,196
R4	10,876	0	31	0		11,028	執行率
R3	21,764						98.78 %

事業の趣旨・目的

市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会などに活用することで埋蔵文化財への理解と保護の意識の高揚に努める。

実施事業の内容

埋蔵文化財調査員報酬等 (4人)	10,078
労災保険料	36
委託料	287
発掘作業業務派遣委託料	221
資料等運搬業務委託料	66
デジタルトレース機器借上料	197
印刷製本費	34
事務費等	427

事業の成果・課題

丸亀市総合運動公園多目的広場照明設備設置工事に伴う発掘調査により検出された遺構や遺物の整理を行い、これらの成果をまとめた調査報告書を作成し、発刊した。

5	事業名	埋蔵文化財整理事務所施設費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	2,099	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,108
R4	1,000	0	0	0		2,099	執行率
R3	1,090						99.57 %

事業の趣旨・目的

埋蔵文化財整理事務所において、市内遺跡の出土遺物を収集・整理し、報告書の作成を行うとともに、適切な遺物の保管・展示を通して、埋蔵文化財の理解と啓発を図る。

実施事業の内容

工事請負費	997
光熱水費	491
修繕料	127
警備業務委託料	213
事務費等	271

事業の成果・課題

埋蔵文化財整理事務所の適切な運営や維持管理に努め、出土遺物の整理・保管を行い、報告書の作成作業につなげることができた。

6	事業名	城泊事業準備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	38,938	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	56,775
R4	7,101	0	0	2,900	35,000	1,038	執行率
R3	—						68.58 %

事業の趣旨・目的

丸亀城三の丸にある延寿閣別館を歴史や文化を体験できる施設として整備し活用する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (17,837)

委託料			351
業務委託料	2件	351	
工事請負費	5件		26,032
城泊事業準備補助金			12,555
歴史観光まちづくり調査事業補助金		7,040	
城泊事業実証実験等(観光庁補助金活用)事業補助金		5,515	

事業の成果・課題

城泊実施に必要な天守のWi-Fi環境や延寿閣別館の門扉などの城内整備を行うとともに、丸亀市観光協会と連携し専門家による城泊実証実験を行い問題点を洗い出すなど、令和6年度の城泊開始に備えた。また城泊事業の次の展開を目指し、城下や島しょ部における歴史観光街づくり調査を行った。

7	事業名	史跡丸亀城跡整備推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	25,472	国支出金	県支出金	地方債	天守入場料	一般財源	25,697
R4	21,700	0	0	0	6,808	18,664	執行率
R3	18,110						99.12 %

事業の趣旨・目的

史跡丸亀城跡の維持管理を行い、文化財として適切に維持・公開するとともに、観光資源としても活用できるよう整備する。

実施事業の内容

印刷製本費			2,710
修繕料	7件		572
委託料			17,153
施設管理委託料	3件	370	
業務委託料	8件	16,783	
令和5年度天守入場者数	124,978人		
使用料及び賃借料			4,158
PR館借上料等(年間来館者数 14,167人)		4,158	
事務費等			879

事業の成果・課題

天守入場者数は増加傾向を維持しており年度別の集計では過去最高となった。今後は、天守を含めた城内3施設(天守、大手一の門、延寿閣別館)の管理運営について丸亀市観光協会を指定管理者とし、更なる誘客を目指す。また、石垣復旧事業は令和6年度から積上げに着手することから、PR館での新たな情報発信を行うなど観光や教育の場としての活用に努める。

8	事業名	まち並保存推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	5,677	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,811
R4	4,246	0	0	0		5,677	執行率
R3	5,227						97.69 %

事業の趣旨・目的

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区の適切な保存を行うとともに、研究・学習の場や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。

実施事業の内容

委員報酬等	56
伝統的建造物群保存地区保存審議会(8人)	
修繕料	800
笠島まち並保存センター等指定管理委託料	3,900
笠島まち並保存センター等借上料	251
事務費等	670

事業の成果・課題

笠島まち並保存センターを含む保存地区3施設については、指定管理者制度により公開施設の適正な維持管理に努めた。本保存地区内では、住民の高齢化や過疎化に伴い、空き家など老朽家屋の修繕・管理が課題となっていることから、関係機関やNPO法人等と連携して課題解決に努め、本島笠島のまち並み保存と観光資源としての活用に努める。

9	事業名	丸亀城石垣保全調査事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	19,981	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,190
R4	17,215	7,400	0	0		12,581	執行率
R3	32,066						98.96 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣のうち最も高さのある三の丸北側において、石垣下部の地盤変位量、地下水位の観測調査を行い、安全性を確認するとともに各石垣のレーザー測量を行い、はらみや変形などの確認ならびにデジタル化を図る。

実施事業の内容

業務委託料	19,981
史跡丸亀城跡三の丸北水位・地盤変位観測業務委託料	3,217
史跡丸亀城跡三の丸北石垣変位量計測業務委託料	1,881
史跡丸亀城跡二の丸北側他石垣測量業務委託料	12,243
史跡丸亀城跡二の丸東側石垣測量業務委託料	2,640

事業の成果・課題

継続的に実施している三の丸北側石垣下部の地盤変位や地下水位の計測ならびに当該石垣の変位量計測を行い、大きな変状が無いことを確認した。引き続きこれらモニタリング調査を行いながら、現状を確認していく。また、二の丸北側と東側の石垣においてレーザー測量を行い、はらみや変形などを確認するとともにデジタル化を図った。こちらについても引き続き未測量の石垣を対象に計画的に測量を行い、石垣の安全性の確認ならびにデジタル化を推進していく。

10	事業名	古墳等整備推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	1,509	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,924
R4	1,673	0	0	0		1,509	執行率
R3	2,329						78.43 %

事業の趣旨・目的

国指定史跡である快天山古墳の適切な維持管理を行うとともに周知啓発を行う。

実施事業の内容

業務委託料	4件	813
仮設トイレ借上料		90
工事請負費	1件	506
事務費等		100

事業の成果・課題

樹木の剪定伐採や草刈、トイレ清掃等を行い、見学しやすい環境を維持するとともにパンフレットの増刷を行うなど本古墳の普及啓発に努めた。また、倒木の危険のある樹木を伐採し、周辺民家の安全管理を行うなど今後も適切な維持管理を行いながら、発掘調査で得た新たな情報を広く発信していく。

11	事業名	丸亀城保存整備費（公共事業）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	440	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	300,000
R4	919	0	0	400		40	執行率
R3	4,910						0.15 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（299,560）

委員報酬等	424
丸亀城石垣復旧専門部会（5人）	
事務費等	16

事業の成果・課題

崩落石ならびに崩落土の回収、撤去が完了し、当初6,000石程度を想定していた崩落石数は最終的に11,746石になった。令和5年度には、今後の積上げに向けた設計業務に取り掛かっており、この設計業務の完了後、令和6年度から積上げ作業に着手する。

12	事業名	丸亀城保存整備費（公共・繰越明許費）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	497,719	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	497,803
R4	395,078	309,282	10,000	175,800		2,637	執行率
R3	677,398						99.98 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。また、歴史的建造物である延寿閣別館の耐震改修や庭園の整備を行い、城泊の宿泊施設として活用する。

実施事業の内容

【丸亀城石垣復旧事業費】	298,997
委員報酬等	296
丸亀城石垣復旧専門部会委員（5人）	

(単位:千円)

建設工事関連委託料	3件	185,537	
工事請負費	1件	113,063	
事務費等		101	
【丸亀城延寿閣改修事業費】			198,722
委託料		6,483	
業務委託料	2件	5,000	
建設工事関連委託料	3件	1,483	
工事請負費	4件	192,239	

事業の成果・課題

石垣復旧事業では、崩落石ならびに崩落土の回収、撤去が完了し、積上げに向けた設計や新石材の製作などに着手している。

延寿閣別館改修事業では、城泊開始に向けて宿泊施設として延寿閣別館の改修ならびに庭園を整備し、必要な家具の購入を行った。

13	事業名	丸亀城保存整備費(単独事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	37,218	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	44,254
R4	21,094	0	0	23,800	1,282	12,136	執行率
R3	16,722						84.10 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓(ひつじさるやぐら)跡石垣と帯曲輪(おびぐるわ)南西部石垣を復旧する。また、歴史的建造物である延寿閣別館の耐震改修や庭園の整備を行い、城泊の宿泊施設として活用する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (5,026)

【丸亀城石垣復旧事業費】			10,142
建設工事関連委託料	2件	999	
工事請負費	8件	9,143	
【丸亀城延寿閣改修事業費】			27,076
建設工事関連委託料	2件	2,618	
工事請負費	6件	24,458	

事業の成果・課題

石垣復旧事業では、石材製作等工事などの実施設計作成業務や現場内の支障木撤去工事などを行い、事業の進捗を図った。

延寿閣改修事業では、延寿閣別館の土台となる石垣の耐震調査や建物改修に伴う監理業務ならびに火災監視機器の移設工事などを行った。

14	事業名	まち並保存事業費 (公共事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	42,065	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	42,078
R4	25,177	21,031	0	14,800	151	6,083	執行率
R3	7,264						99.97 %

事業の趣旨・目的

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並み整備を図るため、国庫補助を受け地区内の建物等の修理・修景を行うとともに、観光や学習機会の誘致により、活性化を図る。

実施事業の内容

建設工事関連委託料		1,650
工事請負費	2件	31,315
笠島伝統的建造物群保存修理事業補助金		8,990
事務費等		110

事業の成果・課題

伝統的建造物群保存地区内の防災計画に基づき、地区内に防災施設倉庫を建設し、必要な防災用具を購入した。併せて、地区内の建物の修理補助を行い、適切な保存と活用につなげた。

15	事業名	まち並保存事業費 (単独事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	6,054	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,480
R4	4,823	0	0	0		6,054	執行率
R3	3,756						93.43 %

事業の趣旨・目的

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並みの復元整備を図るため、地区内の建物等の修理・修景のうち国庫補助の対象とならない小規模または突発的な工事の実施及びその補助を行う。

実施事業の内容

補助金		4,270
保存修理事業 3件	修景事業 3件	
業務委託料	2件	527
工事請負費		970
事務費等		287

事業の成果・課題

市単独補助事業により、家屋等の保存修理事業を3件、修景事業を3件実施し、本島笠島のまち並みの保存、景観の維持に努めた。伝統的建造物群保存地区では高齢化や過疎化に伴う空き家や老朽家屋の維持管理が課題となっていることから、NPO法人などと連携し物件所有者への働きかけを行うなど、適正な保存と活用に努めていく。

16	事業名	史跡快天山古墳整備事業費 (公共事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	2,380	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,388
R4	5,252	1,202	0	0		1,178	執行率
R3	2,580						99.66 %

事業の趣旨・目的

史跡快天山古墳の保存整備計画策定に必要な基礎資料として、埋葬施設や古墳前方部などにおける構造や保存状態などを発掘調査により確認する。

実施事業の内容

委員報酬等	337
史跡快天山古墳保存整備委員等 (7人)	
委託料	1,162
地形測量業務委託料	297
発掘作業業務派遣委託料	865
工事請負費	1件 802
事務費等	79

事業の成果・課題

3基ある埋葬施設のうち1号石棺および2号石棺の発掘調査を実施し、保存状態を確認した。この調査結果では、1号石棺と2号石棺が同時埋納された可能性があり、新たな史跡の本質的価値を探るものとなった。また、これらの発掘調査を基にした市民説明会では、多くの方にご参加をいただき、本古墳に対する理解と関心を高めることができた。

17	事業名	市指定文化財整備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	9,221	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,221
R4	2,048	0	0	0		9,221	執行率
R3	1,270						100.00 %

事業の趣旨・目的

丸亀市指定文化財の適切な保護を図るため、保存修理等を行い、公開に適した状態に整備し、市指定文化財の普及啓発を行う。

実施事業の内容

市指定文化財保存修理事業補助金	71
工事請負費	7,500
建設工事関連委託料	1,650

事業の成果・課題

主にシロアリの害による損傷を受けていた市指定文化財の夫婦倉 (有形文化財・建造物) の一部保存修理工事を実施した。令和6年度の工事完了に向け、引き続き保存修理工事を進める。

18	事業名	丸亀城石垣保全整備事業費 (公共)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	11,634	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,636
R4	18,383						執行率
R3	13,176	5,817	0	2,400		3,417	99.98 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

実施事業の内容

報酬等						313
史跡丸亀城跡調査整備委員 (7人)						
業務委託料						3,488
地形測量業務委託料					3,058	
発掘作業業務派遣委託料					430	
建設工事関連委託料				2件		2,941
工事請負費				1件		4,365
使用料及び賃借料						489
発掘用機器借上料						
事務費等						38

事業の成果・課題

二の丸において発掘調査を実施し、江戸時代の排水路の形状や排水経路の確認を行った。また、令和4年度に引き続き二の丸において排水路の整備を行ったが、二の丸深井戸への導線上に排水路を設置し、舗装を行うことで、適切な雨水排水を行うとともに、二の丸深井戸への誘客にもつながっている。今後においても計画的に整備を行い、石垣の保全に努める。

19	事業名	丸亀城石垣保全整備事業費 (単独)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	1,969	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,300
R4	—						執行率
R3	—	0	0	0		1,969	85.61 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

実施事業の内容

工事請負費				5件		1,969
-------	--	--	--	----	--	-------

事業の成果・課題

二の丸敷地の整地を行い、雨水排水整備の整備効果の向上を図るとともに石垣の支障木を撤去するなど石垣の保全対策を行った。

20	事業名	丸亀城天守耐震診断事業費(繰越明許費)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	1,650	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,650
R4	10,420						執行率
R3	—	0	0	0		1,650	100.00 %
事業の趣旨・目的							
多くの観光客が訪れる丸亀城天守の耐震診断等を実施することで、地震発生時等における安全性を確認する。							
実施事業の内容							
業務委託料 丸亀城天守等年輪年代調査業務委託料							1,650
事業の成果・課題							
天守の耐震診断に引き続き年輪年代調査を実施し、建造年次を確認した結果、現在、絵図などから考えられている山崎時代の建造であることが裏付けられた。							
21	事業名	埋蔵文化財調査事業費(単独・繰越明許費)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	785	国支出金	県支出金	地方債	負担金	一般財源	785
R4	—						執行率
R3	—	0	0	0	785	0	100.00 %
事業の趣旨・目的							
市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会などに活用することで埋蔵文化財への理解と保護意識の高揚に努める。							
実施事業の内容							
印刷製本費							388
業務委託料							397
文化財等保存処理業務委託料							
事業の成果・課題							
四国ガス事業所兼ショールーム建設に伴う発掘調査の報告書を発行し、調査成果を公開した。また、本発掘調査で検出された鉄製品の保存処理を行い今後の展示公開に活用することとした。							

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	13	文化振興費
1	事業名	瀬戸内文化芸術支援事業費				担当課	まなび文化課	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額	
R5	6,009	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,326	
R4	3,866	0	0	0		6,009	執行率	
R3	3,376						94.99 %	
事業の趣旨・目的								
美術を専攻する学生による滞在型制作活動を通して、文化芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流により、離島の活性化に寄与することを目的とする。(HOTサンダルプロジェクト)								
実施事業の内容								
県内旅費							9	
HOTサンダルプロジェクト事業委託料							6,000	
事業の成果・課題								
地元の受け入れ体制を勘案して、参加者を少人数に絞って実施し、従前より参加実績がある美術大学5校より10人の学生が、本島、広島、小手島に滞在して作品制作を行った。滞在期間中には、香川大学の学生によるワークショップや、本事業をきっかけとして島に移住した卒島生によるワークショップを開催して、住民と学生との交流を図った。また、作品発表会や展覧会も実施し、島民をはじめ、広く市民に鑑賞の機会を提供した。さらに、卒島生が作品発表会の講評を担当するなど、事業継続を見据えた人材育成にも取り組んだ。 今後は、島しょ部以外の市民にも事業を周知し、学生が制作した作品を鑑賞することで、文化芸術に興味を持ったり、島に関心を持ってもらうことで、関係人口を増やす取り組みを検討していく。								
2	事業名	文化芸術振興事業費				担当課	まなび文化課	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額	
R5	15,052	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	15,254	
R4	12,087	0	0	0	656	14,396	執行率	
R3	11,481						98.68 %	
事業の趣旨・目的								
文化芸術基本計画に基づき、市民を主体とした文化芸術施策の推進を目的とする。丸亀市文化協会の育成補助など文化団体の育成を図るとともに、文化芸術公演や文化芸術祭など幅広く市民に向けた文化振興事業を実施する。								
実施事業の内容								
文化芸術推進審議会委員 (15人) 報酬 (1回)							84	
文化芸術推進審議会委員 (15人) 費用弁償 (1回)							8	
丸亀市文化功労賞記念品 (1人)							21	
委託料							9,341	
額一式作成業務委託料						44		
まるがめ文化芸術祭業務委託料						1,500		
文化振興事業委託料						7,097		
ゲートプラザ活用事業業務委託料						700		
丸亀市文化協会運営育成事業補助金							5,190	
事務費等							408	

丸亀市文化振興事業協議会事業開催状況

事業名	事業内容・場所	回数等(回)	来場者数(人)
①文化芸術アウトリーチ事業			
芸術体験プログラム	東小川児童館、通町オルデ	2	41
デニムMusicLive!～ふらっと音楽のヨリミチ～	大手門・大手門櫓、市民交流活動センター	5	229
アウトリーチコンサート	(クラシック) 特別養護老人ホーム珠光園、(即興演劇) 城西小学校青い鳥教室、城辰小学校青い鳥教室	3	152
②まるがめ文化芸術祭事業			
まるがめ文化芸術祭	行事件数 14件	(9～11月)	—
「丸亀こどもデー」関連イベント	綾歌総合文化会館	1	312
③若手芸術家育成事業	コンサート(「ピアノ×木管楽器のマリアージュ」アンサンブル【室内楽】)・生涯学習センター	1	338
④市民協働・市民提案事業			
JLYp2023宮崎県と丸亀市の地域交流事業「演劇がつなぐ宮崎市と香川県丸亀市」	生涯学習センター	1	210
市民提案「城のある町」BGMサヌカイトバージョン制作	公共施設での放送、イベント時のBGMとして使用	—	—
⑤「第九」源流のまち推進事業			
2023まるがめ第九プレコンサート	本願寺塩屋別院	1	134
2023まるがめ第九演奏会	綾歌総合文化会館	1	567
ドイツ兵俘虜写真パネル展	市民交流活動センター	(1週間)	—
マルタスde第九演奏会	市民交流活動センター	1	80
⑥共生社会推進事業			
まるがめ2023こども落語ワークショップ	生涯学習センター	1	77
鑑賞サポートワークショップ&舞台手話通訳、字幕、音声ガイド付き演劇「メゾン」	綾歌総合文化会館	1	劇 77 WS 31
⑦地域文化資源活用事業			
キャッスルロード関連公演	大手門櫓	1	200
⑧文化交流推進事業			
「シルヴィア・カレッドウフルート リサイタル」	リサイタル(フルート)・綾歌総合文化会館	1	243

丸亀市文化協会事業開催状況(委託事業)

事業名	事業内容・場所	回数等(回)	来場者数(人)
まるがめ文化芸術祭2023運営業務			
主催展覧会	書、華道等・生涯学習センター	(2期)	1,180
主催公演	コンサート(箏・三弦・尺八)・綾歌総合文化会館	1	658

事業の成果・課題

丸亀市文化振興事業協議会及び丸亀市文化協会の事業について、積極的に実施し、子どもから大人までの幅広い年齢層の市民に対し、文化芸術活動や鑑賞・体験の機会を提供した。また、高齢者施設入所者を対象とした「アウトリーチコンサート」のほか、「舞台手話通訳、字幕、音声ガイド付き演劇公演」や「鑑賞サポートワークショップ」を実施し、身体状況等の特性に関わらず、市民が文化芸術に触れる機会の拡大に努めた。

今後も、丸亀市文化振興事業協議会及び丸亀市文化協会に対し、全ての市民を対象とした文化芸術に触れる機会の充実や文化芸術交流活動の支援となるような事業の実施を求めている。

3	事業名	「津島寿一」文化振興補助金					担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)						予算現額
R5	2,290	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源		2,290
R4	2,290	0	0	0	28	2,262		執行率
R3	2,290							100.00 %

事業の趣旨・目的

故津島寿一氏の遺志により、遺族からの寄附金を基に設立した文化体育振興基金を活用し、文化施策を実施する。事業内容は、文化協会事業への補助金であり、文化協会を通じて市民主体の文化振興事業を展開する。

実施事業の内容

丸亀市文化協会文化事業補助金

2,290

丸亀市文化協会事業開催状況

事業名	事業内容・場所	日数等(日)	来場者数(人)
丸亀お城まつり協賛市民展	絵画、ちぎり絵等・生涯学習センター 茶道・保健福祉センター 書・市立資料館	2	4,596
丸亀お城まつり協賛こどもワークショップ	生涯学習センター	1	85
大西きくゑ遺墨展	市立資料館	9	1,251
うちわに描こう絵画展	応募点数 1,573点・生涯学習センター	17	1,745
芸能フェスタ丸亀2023	出演団体 28団体・綾歌総合文化会館	2	653
丸亀こどもデー関連事業	綾歌総合文化会館	2	68
うちわに描こう絵画展特別展	丸亀うちわミュージアム	18	1,907
あやうた音楽祭	出演団体 8団体・綾歌総合文化会館	1	442

事業の成果・課題

丸亀お城まつり協賛市民展では、展示のほかこどもワークショップを開催し、家族で文化芸術を体感・鑑賞することで、文化芸術に興味・関心をもってもらうことができた。うちわに描こう絵画展では、小中学校や就労施設のほか、親善都市である七尾市からも応募があり、地域間の文化交流としての役割も果たした。また、丸亀市文化協会の加入団体による作品展示や公演のほか、丸亀市文化振興協議会との協働により、フラワーアレンジメントなどのワークショップや立体切り絵アーティストによる創作ライブ、トークイベント等の丸亀こどもデー関連事業を実施し、市民主体の文化振興を図っている。

しかしながら、文化協会会員の高齢化等によりその数が減少傾向にあることから、文化協会所属団体が学校に出向き、様々な文化芸術を体験してもらうなど、中学校部活動の地域移行の動向を見据えた取り組みを実施し、若い世代の参加・参画につながるよう働きかけていきたい。

4	事業名	瀬戸内国際芸術祭事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源を含む）					予算現額
R5	4,705	国支出金	県支出金	地方債	補助金	一般財源	6,012
R4	50,937	0	0	0	1,651	3,054	執行率
R3	14,303						78.26 %

事業の趣旨・目的

瀬戸内国際芸術祭2025に向け、継続作品周辺の環境整備など本島での受入体制の整備を図り、島内外の活性化につなげる。

実施事業の内容

瀬戸内国際芸術祭負担金	1,050
瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会補助金	1,000
業務委託料	2,144
作品管理等業務委託料	138
パンフレット製作業務委託料	55
瀬戸内国際芸術祭関連業務委託料	300
芸術鑑賞支援業務委託料	1,651
事務費等	511

事業の成果・課題

香川県と連携し、離島航路無料キャンペーン期間中に、瀬戸内国際芸術祭の作品を開催年以外でも鑑賞ができる特別展示を開催し、また、本島ウオーク大会に併せて、大会参加者が瀬戸内国際芸術祭作品を鑑賞できるよう展示を行ったところ、ホームページやSNSでの情報発信の効果もあり、約300人もの来場があった。

また、瀬戸内中讃定住自立圏の小中学生とその保護者162名を対象に、「本島体験交流親子バスツアー」を実施し、瀬戸内国際芸術祭の屋外作品や丸亀港周辺の文化施設を活用して、文化芸術に触れる機会を提供した。

今後は香川県や瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会と連携しながら、既存作品を利用した鑑賞事業等、アート作品による地域の活性化を図る活動を行う一方、作品周辺の環境整備や今後増加すると考えられる外国人観光客への対策に取り組むなど瀬戸内国際芸術祭2025に向けて準備を進めていく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	14	市民会館費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	-------

1	事業名	綾歌総合文化会館管理運営費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	50,346	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	50,855
R4	60,942						執行率
R3	52,636	0	0	0		50,346	99.00 %

事業の趣旨・目的

優れた舞台芸術の発信や地域における文化芸術の推進、人々のつながりの創出を図る効果的な事業を実施する。

実施事業の内容

綾歌総合文化会館指定管理者選定委員報酬 (2人)	14
綾歌総合文化会館指定管理者選定委員費用弁償 (2人)	3
綾歌総合文化会館指定管理者選定委員会会議資料送付料	1
綾歌総合文化会館テレビ共聴設備修繕料	550
業務委託料	49,778
綾歌総合文化会館指定管理委託料	49,400
中央装置 (空調設備) 年間保守業務委託料	378

事業の成果・課題

綾歌総合文化会館では、歌舞伎や室内楽、演劇など幅広い分野における本格的な公演を実施したほか、小学校とコミュニティーセンターに現代サーカスの公演とピアノコンサートをアウトリーチすることで、様々な環境で生活を送る方に対して優れた文化芸術を体験できる機会を提供した。地域に密着した文化芸術等の支援として、「まるがめ第九演奏会」や「新春和の祭典」などを実施し、丸亀の文化芸術の継承や発展、地域の賑わいづくりに努めた。また、「あやうた音楽祭」や「香川県高等学校演劇研究大会」、「市民劇」など、多数の事業を共催することで、様々な主体による文化芸術活動を推進することができた。

貸館事業における利用件数については、昨年度と比較して11%増の1,065件となっており、コロナ禍前の状況まで回復した。

2	事業名	新市民会館整備事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	16,512	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	18,090
R4	9,781						執行率
R3	7,191	0	0	0	6,000	10,512	91.28 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (300)	
会計年度任用職員報酬等 (1人)	1,970
県外旅費・県内旅費	965
業務委託料	12,745
イベント等開催業務委託料	2,296
課題解決型実践事業業務委託料	3,198
文化芸術推進サポーター養成講座開催業務委託料	5,157

アーティスト・コーディネーター育成業務委託料	1,006
チラシ作成委託料	391
障害福祉施設等における文化芸術活動に関する調査集計業務委託料	94
その他業務委託料	603
事務費等	832

事業の成果・課題

イベント等開催業務では、和紙や木工など日本の伝統文化と現代サーカスのコラボレーションによる創造的な公演のほか、障がいテーマにした演劇公演やコンサートを実施し、鑑賞を通じて社会について再考する事業を展開した。

課題解決型実践事業は、「子ども」「高齢者」「障がい者」を中心に事業を実施した。それぞれの対象に関するニーズに対し、舞台芸術の特性を活かしたアプローチを行うことで、新たな気づきや知識が得られる機会を提供した。

サポーター養成講座では、コアサポーターが企画、制作、運営する実践的な事業として、市民劇を実施した。サポーターの能力開発やネットワーク構築につながり、新市民会館の運営をサポートする人材の育成を行うことができた。

アーティスト・コーディネーター養成講座は、文化芸術的アプローチにより地域や社会で活躍できる人材の育成を目的に実施し、文化芸術が社会や個人に与える影響について理解を深めた。外国籍の方、学生、県内で活躍するアーティスト等、多様な受講者同士が議論できる時間を設けることで、自発的な学びやつながりを持つきっかけをつくることができた。

文化芸術活動実態調査では、市内全ての障害福祉施設を対象にアンケートを実施した。多くの施設で文化芸術活動の重要性を理解しているものの、職員が不足している等の理由により、実施できていないという現状も把握することができた。今後もヒアリング等を継続して行い、障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

3	事業名	新市民会館開館準備事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,308	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	9,318
R4	—	0	0	0	3,778	5,530	執行率
R3	—						99.89 %

事業の趣旨・目的

新市民会館の開館に向けて、指定管理者の選定及び開館準備を円滑に進める。

実施事業の内容

市民会館指定管理者選定委員報酬（5名・開催回数4回）	126
市民会館指定管理者選定委員費用弁償（5名・開催回数4回）	182
市民会館開館準備業務委託料	9,000

事業の成果・課題

新市民会館の管理運営を行う指定管理者の選定を行い、開館に向けた準備を着実に進めるため、開館準備業務を委託し、開館までに必要な利用規則やマニュアルの検討、運営実施体制の検討等を行った。

今後も指定管理者と丁寧な協議を重ねながら、開館に備えたい。

4	事業名	綾歌総合文化会館施設整備費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	484	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	13,000
R4	7,403						執行率
R3	37,713	0	0	0		484	3.72 %

事業の趣旨・目的

丸亀市綾歌総合文化会館の設備が老朽化、更新時期を迎えていることにより、設備改修に伴う設計業務委託及び改修工事を行い、適正な維持管理を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (11,753)

綾歌総合文化会館舞台照明改修他設備設計業務委託料

484

事業の成果・課題

大ホールのシーリングスポットライトと多目的広場の照明設備を更新するために必要な設計を行った。工事については、能登半島地震の影響により部品の供給が困難となったため、繰越しを行ったが、不具合などが生じる前に速やかに完了を目指す。

本館は開館から27年が経過していることから、全体的に施設内の設備の更新を行う必要がある。新市民会館の開館にあわせて、大規模改修工事に入れるよう計画的に準備を進めていく。

5	事業名	新市民会館建設事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	1,217,920	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,384,900
R4	52,915						執行率
R3	1,444	150,000	0	1,009,500		58,420	51.07 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (1,165,800)

印刷製本費	323
委託料	85,233
埋蔵文化財調査業務委託料	12,287
発掘作業業務派遣委託料	1,801
文化財等保存処理業務委託料	945
建設工事関連委託料	70,200
使用料及び賃借料	22
工事請負費	1,132,342
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う給排水設備工事費	24,600
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う空調設備工事費	50,400
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う新築工事費	932,500
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う舞台機構設備工事費	31,600
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う舞台照明設備工事費	27,900
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う電気設備工事費	44,100
丸亀市(仮称) みんなの劇場新築に伴う舞台音響設備工事費	20,600
劇場新築に伴う街路樹撤去工事費	627
大手町東西2号線外灯撤去に伴う電源線切離し工事費	15

事業の成果・課題

新市民会館の工事は7工種に分割して発注し、市、工事監理業者、指定管理者が連携を図りながら工事を進めているが、近年の物価変動や労務単価の上昇など工事に影響が及ぶ課題が生じている。関係者と十分に協議を重ねながら工事の完成を目指す。

埋蔵文化財調査は、令和3年度と令和4年度に出土した遺物や遺構の実測及び保存処理業務を実施し、文化財の保存を適切に行った。

6	事業名	新市民会館建設事業費（繰越明許費）				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	140	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,200
R4	346,839	0	0	0		140	執行率
R3	4,698						11.67 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

市民会館建設に伴う安全柵の借上料

140

事業の成果・課題

新市民会館工事の着手に伴い、作業車が搬入されるまでの間、安全対策として敷地への進入を防ぐ柵の借上げを行った。工事は長期にわたるため、安全に問題なく完了するよう工事業者とともに取り組んでいく。

(単位:千円)

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	15	学習センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	学習センター施設管理運営費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	93,480	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	98,969
R4	93,679	0	0	0	777	92,703	執行率
R3	87,490						94.45 %

事業の趣旨・目的

生涯学習を総合的に推進するため、その中核的施設である「生涯学習センター」と「飯山総合学習センター」の管理運営を行う。

実施事業の内容

施設管理委託料	91,852
生涯学習センター指定管理委託料	61,309
生涯学習センター指定管理委託料 (光熱水費追加分)	5,850
飯山総合学習センター指定管理委託料	21,000
飯山総合学習センター指定管理委託料 (光熱水費追加分)	920
E V充電設備保守点検委託料	439
飯山総合学習センター長寿命化計画策定業務委託料	2,334
指定管理者選定委員報酬	14
土地借上料	505
修繕料等	1,109

※生涯学習センター利用状況 (令和5年度開館日数は355日)

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)
1階		
ギャラリー1	236	17,264
ギャラリー2	130	9,750
2階		
教養室	58	733
大広間	492	6,342
茶室	86	1,036
3階		
会議室	448	4,707
ホール	94	13,273
4階		
大広間	186	2,346
講座室1	242	9,908
講座室2	382	7,638
講座室3	355	8,167
講座室4	333	7,113
5階		
音楽室	530	7,213
視聴覚教室	425	5,209
小ホール	589	7,689
小計	4,586	108,388
社会教育関係団体室	276	481
児童館	303	14,398
児童館 (団体利用)	4	84
天体観測室	13	553
小計	596	15,516
合計	5,182	123,904

※飯山総合学習センター利用状況 (令和5年度開館日数は299日)

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)
1階	香川放送大学丸亀教室	297
	(学習室)	690
	児童施設遊戯室・集会場	5,388
	ロビー展示コーナー	9,184
2階	研修室	296
	調理室	169
	和室	3,411
合 計	2,060	32,418

事業の成果・課題

生涯学習センターの令和6年度末閉館に向けて、代替施設の検討や備品の整理など必要な業務を指定管理者とともに引き続き行っていく。

飯山総合学習センターの利用人数は、昨年度より2,410人増加しているものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。児童施設や図書館との複合施設といった特色を生かし、利用者の増加につながる取組を検討する。また、施設の長寿命化を図るため、長寿命化計画を策定した。今後は、市内の類似施設の改修計画等を勘案し、利用者の安全確保、効率的な維持管理、施設の性能向上の方針のもと計画内容を実施していく。

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	学校給食センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-----------

1	事業名	学校給食センター管理運営費				担当課	学校給食センター
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R5	579,569	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	596,879
R4	572,705						執行率
R3	536,217	0	0	0		579,569	97.10 %

事業の趣旨・目的

安全安心な学校給食を提供するため、給食センター4施設を維持管理し、適切な衛生管理を図るとともに、異物混入や食中毒対策など食の安全性を確保しながら、子どもたちに正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育んでいく。

実施事業の内容

学校給食センター施設費	194,630
学校給食センター運営費	384,939
職員給与等	130,979
会計年度任用職員報酬等 (34人)	62,309
中央及び飯山学校給食センター調理等業務委託料	178,890
学校給食管理システム保守業務委託料	616
配送業務委託料	4,301
その他	7,844

事業の実績

・給食実施回数及び食数

	中央		第二		本島		飯山		計
	回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数	食数
幼稚園	190	17,107	190	18,532	—	—	—	—	35,639
こども園	230	46,572	—	—	—	—	214	26,443	73,015
小学校	197	534,971	196	453,137	191	2,036	198	213,101	1,203,245
中学校	193	304,674	181	145,475	192	2,253	188	86,812	539,214
センター	230	10,385	197	7,629	193	579	205	5,122	23,715
計	—	913,709	—	624,773	—	4,868	—	331,478	1,874,828

・アレルギー対応給食実施状況

「丸亀市食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、中央及び第二学校給食センターで代替食及び除去食を実施している。

実施対象食品	鶏卵、牛乳、果物 (キウイ・メロン・バナナ)				
実施校数	20校	(小学校12校	中学校 5校	こども園1園	幼稚園2園)
実施児童数	62名	(小学校47名	中学校12名	こども園1名	幼稚園2名)

・有機農産物の利用状況

有機給食の実施

12月8日	(小学校16校	中学校6校	幼稚園4園	子ども園3園	保育所3園)
2月16日	(小学校16校	中学校6校	幼稚園4園	子ども園3園	保育所3園)

登録有機生産者数 3件 (市内2件 県内1件)

・残菜率

(単位: %)

	中央			第二			本島		飯山		
	幼稚園 こども園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	小学校	中学校	こども園	小学校	中学校
年平均	6.1	6.2	5.0	6.0	3.3	6.5	0.0	0.0	8.1	3.3	4.2

※食品残渣発酵分解装置への食品残渣及び残菜投入量 約35 t

・丸亀市学校給食センター運営委員会

【委嘱期間】令和5年6月1日～令和6年5月31日

【開催日】令和5年4月20日・令和5年7月13日・令和5年11月9日・令和6年3月18日

事業の成果・課題

子どもたちに安全安心でおいしい学校給食を円滑に提供するとともに、異物混入などが起きないように衛生・安全管理を徹底している。また、望ましい食習慣の形成と、日本の伝統的な食文化である「和食」の継承を目的とした米飯給食や、有機農産物を利用した有機給食などに取り組んでいる。さらに、食品残渣を堆肥化し、地産農家へ配布して循環型社会の形成に取り組んだ。

2	事業名	学校給食費公会計事業費					担当課	学校給食センター
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)						予算現額
R5	569,137	国支出金	県支出金	地方債	学校給食費等	一般財源		576,300
R4	530,634	0	10,949	0	99,097	459,091		執行率
R3	521,601							98.76 %

事業の趣旨・目的

給食物資については、良質、安全、安価な物資を適正に調達するため、丸亀市学校給食物資選定委員会を毎月開催する。また、日々の給食物資の荷受けに当たっては、品質や鮮度などの検収体制の強化に努める。

学校給食費の徴収については、保護者負担の公平性の原則に立ち、滞納者への納付促進に努める。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等 (3人)	7,531
賄材料費	385,504
香川県給食会負担金 (パン、牛乳)	168,741
中讃広域行政事務組合負担金	3,943
その他	3,418

・丸亀市学校給食物資選定委員会 毎月10日前後に開催 (翌月の学校給食物資の選定)

・令和5年度給食費等支援補助金の状況

補助要件	対象者 (人)	支給額 (円)
特別支援学校	38	1,426,866
アレルギー対応 (弁当等)	2	71,625
合 計	40	1,498,491

・滞納給食費の徴収状況 (学校給食費無償化以前分)

調定額 (円)	徴収済額 (円)	未納額 (円)	徴収率 (%)
2,625,387	1,399,527	1,225,860	53.31

令和6年度丸亀市行政評価
内部評価（1次評価）結果報告書

令和6年8月
丸亀市市長公室政策課

基本方針	I	心豊かな子どもが育つ
基本施策	1	子どもの教育の充実

目指す姿	地域、家庭、学校、行政が協力し、まち全体が一体となって子どもを育てる環境を充実させながら、主体性と公共性を備えた豊かな人格の子どもの育成を図ります。							
	指標内容	基準値 2020	進捗状況 2021	2022	2023	2024	2025	目標値 2025
成果指標の推移	No.1 コミュニティ・スクールの推進、No.58 地域学校協働活動の推進							
	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合 (①小学生、②中学生)	①91.5% ②89.4%	①91.7% ②89.7%	①91.6% ②88.1%	①92.3% ②90.0%			①93% ②91%
	地域との関わりがあると感じる児童生徒の割合(①小学生②中学生)	①66.9% ②43.4%	①67.5% ②45.0%	①73.7% ②46.8%	①75.2% ②47.1%			①70% ②50%
	No.2 GIGAスクール構想の推進							
	授業が分かると感じる児童生徒の割合 (①小学生②中学生)	①90.5% ②84.4%	①91.9% ②82.6%	①91.3% ②80.9%	①90.7% ②83.3%			①92% ②86%
	No.3 教職員の働き方改革の推進							
	教職員の時間外勤務時間の削減率	—	10%	13%	20%			25%
	No.4 学校施設の環境整備							
	長寿命化改修等の整備件数	—	0件	1件	0件			7件
	No.5 学校給食による食育の充実							
	地産交流会の実施回数	11回 (2019)	14回	13回	12回			12回
	No.42 小児生活習慣病予防対策の推進（再掲）							
	小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率（①小学生②中学生）	①59.1% ②48.7%	①66.3% ②51.6%	①61.5% ②44.4%	①67.1% ②50.4%			①65% ②55%
	No.63 インターネットによる人権侵害対策（再掲）							
	校長会等を通じた周知啓発回数	1回	2回	3回	3回			3回

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
協働推進部	C	市内の市民活動団体や青山学院大学との協働によるキャンプや自然体験活動を通して、子どもの主体性を引き出し、協調性を養うことにつながった。また、親子都市である京極町との交流事業は、市内の子ども達が郷土文化への認識を高める契機となった。今後も様々な主体との協働により、体験活動機会の拡充に努めたい。

教育部	C	1人1台端末の活用など授業改善に向けた取組により、低下傾向にあった中学生の授業が分かると感じる生徒の割合は上昇した。また、学校行事や地域との関わりについてはコロナ禍以前に戻りつつあり、学校が楽しいと感じる児童生徒の割合も微増となっている。教職員の働き方改革を継続して推進するとともに、児童生徒の人権意識を高め、地域学校協働活動をより充実させて、地域とともにある学校づくりを支援していく。 学校施設では、長寿命化計画に基づいた整備に取り組み、安全対策や環境改善を図るとともに、就学支援などに努め義務教育の円滑な実施に努めている。 また、幼稚園については、一時預かりや医療的ケア児の受入れなどにより、保護者の多様なニーズに応え子どもたちの健やかな成長を支援しているが、社会情勢の変化により就園児童の減少傾向が続いており、今後は施設の改修時期に合わせ、施設の統廃合や認定こども園への移行等の検討を進める。 学校給食では、地元生産者と児童等との対面による地産交流会や有機給食などを実施し、食への感謝の気持ちを育み、食への理解の促進に努めている。また、第二学校給食センターの建替えについては、基本計画の策定や民間活力導入可能性調査を実施し、令和10年度開業に向けて準備を進めている。

【事務事業評価】

担当課			評価	予算事業					主要な成果 該当ページ
款	10	教育費		項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費
教育・総務課	C	1	教育委員会費						254
款	10	教育費		項	1	教育総務費	目	2	事務局費
教育・総務課	C	1	事務局管理費						255
学校教育課	C	1	事務局管理費						255
教育・総務課	C	2	私学等振興費						255
款	10	教育費		項	1	教育総務費	目	3	教育振興費
教育・総務課	C	3	奨学金給付事業費						256
学校教育課	C	4	教育研究所管理費						257
学校教育課	C	5	教育情報化推進費						258
学校教育課	C	6	日本語適応支援教室事業費						258
学校教育課	C	7	学校教育サポート事業費						259
学校教育課	C	8	小中・地域連携教育推進事業費						260
学校教育課	C	9	就学奨励事業費（高校、大学）						260
款	10	教育費		項	2	小学校費	目	1	学校管理費
教育・総務課	C	1	小学校管理運営費						263
学校教育課	C	1	小学校管理運営費						263
学校教育課	C	2	児童指導推進費						264
学校教育課	C	3	いじめ等対策事業費						264
学校教育課	C	4	児童指導充実費						265
学校教育課	C	5	教職員等研修費						265
学校教育課	C	6	英会話推進事業費						266
学校教育課	C	7	人権教育フィールドワーク事業費						266
学校教育課	C	8	学校図書館教育推進事業費						267
款	10	教育費		項	2	小学校費	目	2	教育振興費
教育・総務課	C	1	教育振興費						268
学校教育課	C	1	教育振興費						268
款	10	教育費		項	2	小学校費	目	3	学校建設費
教育・総務課	C	1	小学校建設費（単独事業）						269
教育・総務課	C	2	小学校建設費（公共事業）						270

・款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	
教育・総務課	C	1			中学校管理運営費				271
学校教育課	C	1			中学校管理運営費				271
学校教育課	C	2			生徒指導推進費				272
学校教育課	C	3			生徒指導充実費				273
学校教育課	C	4			教職員等研修費				273
学校教育課	C	5			人権教育フィールドワーク事業費				273
学校教育課	C	6			学校図書館教育推進事業費				274
学校教育課	C	7			外国語指導助手招致事業費				274
・款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	
教育・総務課	C	1			教育振興費				275
学校教育課	C	1			教育振興費				275
・款	10	教育費	項	3	中学校費	目	3	学校建設費	
教育・総務課	C	1			中学校建設費（単独事業）				276
教育・総務課	C	2			中学校建設費（公共事業）				276
・款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	1	幼稚園費	
教育・総務課	C	1			幼稚園管理運営費				278
幼保運営課	C	1			幼稚園管理運営費				278
幼保運営課	C	2			幼稚園教育研究事業費				279
幼保運営課	C	3			私立幼稚園等運営費				279
幼保運営課	C	4			私学等振興費				280
・款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	2	幼稚園建設費	
教育・総務課	C	1			各幼稚園施設補修費				281
教育・総務課	C	2			幼稚園建設費（単独事業）				281
・款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
まなび文化課	C	5			少年教育事業費				285
学校教育課	C	11			P T A活動推進費				290
・款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	少年育成センター費	
学校教育課	C	1			少年育成センター運営事業費				293
学校教育課	C	2			少年育成センター活動事業費				293
・款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	学校給食センター費	
学校給食センター	C	1			学校給食センター管理運営費				336
学校給食センター	C	2			学校給食費公会計事業費				337
学校給食センター	C	3			学校給食センター施設等整備費（単独事業）				338
学校給食センター	C	4			新第二学校給食センター施設整備事業費				338

基本方針	I	心豊かな子どもが育つ
基本施策	2	子育て支援の充実

目指す姿	行政、事業者など地域社会と家庭が力を合わせて、全ての子どもの明るく健やかな成長を支え、安心して子どもを産み育てられるまちの実現を目指します。							
	指標内容	基準値 2020	2021	2022	進捗状況 2023	2024	2025	目標値 2025
成果指標の推移	No.6 待機児童の解消							
	待機児童数（①4月1日、②10月1日時点）	①0人 ②66人	①0人 ②53人	①0人 ②63人	①0人 ②49人			①0人 ②0人
	幼稚園・保育所・こども園の統廃合併件数	—	—	—	1件			2件
	No.7 子育て世帯の負担軽減							
	一時預かり事業の実施箇所数	7か所	7か所	7か所	7か所			8か所
	病児・病後児保育の実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所			2か所
	ファミリー・サポート・センターの登録者数	1,144人	1,128人	1,072人	976人			1,200人
	No.8 放課後児童対策の充実							
	青い鳥教室の待機児童数	0人	0人	0人	0人			0人を維持
	No.9 まる育サポートの充実							
	まる育サポート相談件数	402件	1,004件	1,047件	975件			1,000件
	妊娠届出時の面接実施率	97.8%	97.6%	98.0%	95.7%			100%
	No.10 発達障がい児支援の充実							
	発達障がいにかかる巡回カウンセリング対象園数	39園	39園	39園	39園			40園
	No.11 DV及び児童虐待防止の推進							
	DV相談受付件数	43件	83件	88件	41件			80件
	児童虐待相談受付件数	1,719件	1,748件	1,992件	2,810件			2,000件
	児童虐待の終結件数の割合	45.8%	43.1%	51.2%	46.8%			50%
	No.12 子どもの貧困対策の推進							
	子どもの居場所箇所数	3か所	3か所	10か所	11か所			12か所 (6か所)

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
健康福祉部	C	こども家庭庁が令和5年4月からスタートし、「こどもまんなか」をキーワードとしてこどもを取り巻く社会問題に対する施策を推進する中で、こども医療費の18歳まで無償化を実現し、子育て世帯の経済的負担を軽減した。 また、困窮対策のつながりの場や第3の居場所が継続して開所できるように支援したことにより、こどもの居場所の確保につなげることができた。こどもの居場所については、引き続き財政面も含めて支援することにより場所を確保するとともに、ネットワーク会議を通じた情報共有などにより、多世代交流や体験機会の確保など質の向上にも努めていく。 妊産婦に対する伴走型相談支援として、妊娠届出時、妊娠8か月時、出産後における面談やアンケート調査により、妊産婦やその家族の状況把握を行い、関係各課と連携し早期に必要な支援につなぐ。特に特定妊婦及びハイリスク妊産婦への早期支援や乳幼児の健康の保持・増進、虐待予防を含めた育児支援については、継続的な支援となるよう取り組んでいる。まる育サポート事業の中で国の出産・子育て応援交付金を支給し、経済的支援と伴走型相談支援を一体的に行うことにより、相談・支援機関と顔の見える関係性の機会獲得につながっており、妊娠・出産期の支援体制強化が図られた。
教育部	C	老朽化した保育施設の更新や補修に取り組むほか、私立園等の施設整備を支援し、安心安全な保育環境の整備に努めている。 年度当初の待機児童は0人を継続できており、10月1日時点においても削減することはできたものの解消には至っておらず、引き続き保育士の就職支援や離職防止など保育士確保に努める。また、公立園は人口の推移及び施設の老朽化等を勘案しながら、施設の統廃合や認定こども園への移行等の検討を進めるとともに、引き続き私立園の保育運営に対する支援を実施し、子どもの健やかな成長を支えていく。 放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）は、待機児童0人を継続できているが、利用児童数は増加傾向のため、支援員の確保や受入環境の改善・充実に取り組んでいく。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業	主要な成果 該当ページ
款 3 民生費		項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費
子育て支援課 C	11	生活支援緊急給付金事業費（こども加算分・均等割のみ世帯分）	99
款 3 民生費		項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費
子育て支援課 C	1	児童福祉管理費	120
子育て支援課 C	2	子ども・子育て支援事業計画推進事業費	120
子育て支援課 C	3	家庭・児童相談事業費	121
子育て支援課 C	4	児童館管理運営費	122
子育て支援課 C	5	ファミリーサポートセンター事業費	123
子育て支援課 C	6	子育て支援事業費	124
子育て支援課 C	7	子育て短期支援事業費	126
子育て支援課 B	8	児童、母子援護費	126
子育て支援課 C	9	児童扶養手当支給事業費	128
子育て支援課 C	10	病児・病後児保育事業費	128
子育て支援課 C	11	多子世帯出産祝金支給事業費	129
子育て支援課 C	12	児童福祉施設整備促進事業費	129
子育て支援課 C	13	子どもの居場所事業費	130
子育て支援課 C	14	児童養護施設支援事業費	130
子育て支援課 C	15	子育て世帯生活支援特別給付金事業費	131

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	
子育て支援課	C	1	児童手当給付費						132
款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	保育所及びこども園費	
教育・総務課	C	1	保育所及びこども園管理運営費						133
幼保運営課	C	1	保育所及びこども園管理運営費						133
幼保運営課	C	2	私立保育園等運営費						134
幼保運営課	C	3	私立保育園等援助費						136
教育・総務課	C	4	子育て支援事業費						137
幼保運営課	C	4	子育て支援事業費						137
幼保運営課	C	5	保育所等職員教育研究事業費						137
幼保運営課	C	6	発達障害児支援協働事業費						138
幼保運営課	C	7	保育士確保対策事業費						139
款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	保育所及びこども園建設費	
教育・総務課	D	1	市立保育所及びこども園施設整備事業費（単独事業）						140
教育・総務課	C	2	市立保育所及びこども園施設整備事業費（単独事業・繰越明許費）						141
教育・総務課	C	3	市立保育所及びこども園施設整備事業費（公共事業）						141
教育・総務課	C	4	市立保育所及びこども園施設整備事業費（公共事業・繰越明許費）						142
教育・総務課	C	5	私立認可保育園施設整備事業費						142
教育・総務課	C	6	金倉保育所送迎用駐車場整備事業費（繰越明許費）						143
款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	
健康課	C	2	母子保健事業費						147
健康課	C	3	出産・子育て応援交付金事業費						149
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
教育・総務課	C	8	放課後子どもプラン事業費						288
教育・総務課	C	9	留守家庭児童会施設整備事業費（公共事業）						289
教育・総務課	C	10	留守家庭児童会施設整備事業費（単独事業）						290
教育・総務課	C	12	放課後留守家庭児童会 I C T 化推進事業費（繰越明許費）						291

基本方針	Ⅲ	活力みなぎる
基本施策	15	商工業の振興

目 指 す 姿 成果 指 標 の 推 移	地域産業の成長を支援するとともに、企業を支える人材確保に向け、地元企業の魅力をアピールし、若者、女性、高齢者、あらゆる世代が働き活躍できる環境づくりを目指します。							
	指 標 内 容	基準値 2020	進 捗 状 況					目標値 2025
	No.33 産業教育の充実							
	地元企業PR事業実施校数	4校	5校	5校	6校			市内全 中学校
	No.34 インターンシップの充実							
	中讃圏域内採用内定者数（累計）	2人	-	0人	3人			20人
	No.35 企業立地の促進							
	企業立地促進奨励金交付件数（累計）	28件	38件	43件	45件			52件
	No.36 地域産品の販路拡大支援							
	産業振興支援補助金補助件数（累計）	3件	1件	3件	8件			21件
	No.37 地場・伝統産業の振興							
	竹うちわの生産本数	-	-	106.3万本 (R3.9～ R4.8)	未確定			110万本 (R6.9～ R7.8)
	No.38 創業・第二創業等の支援							
	創業相談件数	25件	32件	34件	68件			30件
	空き店舗率	34.4%	31.8%	29.7%	29.2%			27.9%

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
産業生活部	C	令和5年度に新設した「創業支援事業補助金」のほか、各支援機関と連携した「スタートアップセミナー」や「創業塾」、「フォローアップ事業」の創業支援事業を実施した。今後も引き続き関係機関と連携し、創業準備の段階から創業後も切れ目ない支援を行っていく。 また、コロナ禍を脱したこともあり、市内の全ての公立中学校で地元企業PR事業を実施することができた。 さらに、前年度に引き続き、企業紹介サイト・中小企業支援ガイドブックの作成、インターンシップ事業の開催、産業振興支援補助、空き店舗空きオフィス等活用促進補助などの実施のほか、地域経済の発展及び雇用機会の拡大に寄与する企業立地促進奨励金を交付した。 今後も企業訪問専門員による企業訪問等により、事業者の課題やニーズを把握し、必要な施策について検討・実施していく。 このほか、「まるがめ婆娑羅花火ファンタジアinレオマ」の開催や丸亀うちわミュージアムと中津万象園との連携事業として「丸亀うちわフェスタ」を実施した。

【事務事業評価】

【事務事業計画】			予算事業				主要な成果 該当ページ	
担当課		評価						
款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	1	労働諸費
産業観光課	C	1	中讃勤労者福祉サービスセンター管理運営負担金					176
産業観光課	C	2	勤労者福祉資金貸付事業費					176
款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工総務費
産業観光課	C	1	商工管理費					200
款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費
産業観光課	C	1	商工業振興管理費					200
産業観光課	C	2	産業振興対策事業費					201
産業観光課	C	3	商工業振興事業費					202
産業観光課	C	4	産業活性化事業費					203
産業観光課	C	5	商工業振興融資事業費					203
産業観光課	C	6	丸亀うちわ産業発展支援事業費					204
産業観光課	C	7	商店街施設整備事業費					205

基本方針	Ⅲ	活力みなぎる
基本施策	16	観光・交流の促進

目指す姿	民間や広域との連携を強化しながら、本市の魅力ある観光資源の積極的な活用や効果的なプロモーションを展開し、交流人口の回復・拡大を目指します。また、国際交流協会と連携し、相談・啓発事業の充実や多文化共生につながる交流の促進に努めます。							
	指 標 内 容	基準値 2020	進 捗 状 況 2021 2022 2023 2024 2025					目標値 2025
成果指標の推移	No.39 丸亀版DMOの推進							
	市を訪れた観光客数	294.5万人 (R1)	235.3 万人	348.7 万人	341.5 万人			360 万人
	市内宿泊施設の宿泊者数	49.4万人 (R1)	31.7 万人	47.4 万人	53.0 万人			61.5 万人
	1人あたり旅行消費額 (宿泊①なし②あり)	①3,481円 ②16,715円	①4,459円 ②22,853円	①3,845円 ②17,276円	①6,897円 ②32,142円			①3,634円 ②17,955円
	来訪者満足度	30.7%	30.3%	23.5%	25.3%			36.6%
	リピーター率	37.0%	58.8%	33.0%	34.9%			44.1%

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市長公室	C	国際交流については、市代表団を派遣して、新たにドイツ・ヴィリッヒ市と姉妹都市協定を締結した。今後は、交流都市3市について、時代に合った手法での交流事業を推進していくとともに、市民にも興味・関心を持ち身近に感じてもらえるよう、市広報紙での定期的な紹介等、周知に努めていきたい。また、引き続き在住外国人への支援として日本語教室や相談業務を実施するほか、他団体との連携を深め、多文化共生の実現に向け取り組んでいく。
産業生活部	C	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、インバウンド客がコロナ前の状況に戻りつつある。そこで、市観光協会においては、飲食店への支援として、メニューを多言語に翻訳するサービスを開始し、インバウンド客の受入れ環境の整備を図った。 また、本市の観光戦略である滞在・回遊型観光等を促進する上で、市と観光協会が重複している観光事業については観光協会に一本化し、市が観光戦略の企画や立案、市民対応等の部門を担うことにより、それぞれが専門性を生かした運営を進めていく。 それに加え、令和5年度に世界の持続可能な観光地TOP100に選出されたことにより、うちの歴史や工程を含む「うちわ動画の製作」、「教育冊子制作」、「教育プログラムツアーの造成」を行い、持続可能な観光まちづくりに取り組んでいく。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業	主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 15 国際交流費
秘書課	C	1 国際交流事業費	63
款 7 商工費		項 1 商工費	目 3 観光費
産業観光課	C	1 観光宣伝費	206
産業観光課	C	2 観光振興事業費	206
産業観光課	C	3 観光開発事業費	207

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	21	歴史的資源の保存と活用

目指す姿	丸亀城をはじめとする文化財を適切に保存し、次世代への継承を図りながら、有効に活用する取組を推進します。							
	指標内容	基準値 2020	2021	2022	2023	2024	2025	目標値 2025
成果指標の推移	No.52 丸亀城の石垣整備							
	丸亀城の石垣整備	—	33%	36%	43%			70%
	No.53 文化財の保存・活用							
	市指定文化財の修理件数（計画期間内の累計）	5件 (H29～R2)	2件	2件	3件			6件 (R4～R7)
	丸亀城天守入場者数	124,287人 (R1)	61,890人	116,889人	124,978人			170,000人
	資料館の入館者数	28,419人 (R1)	26,399人	27,047人	22,703人			30,000人
	笠島まち並保存センター・塩飽勤番所への来訪者数	5,809人 (H29～R1)	1,471人	6,388人	4,302人			7,000人 (R5～R7)

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
教育部	C	丸亀城石垣復旧工事では、崩落石などの回収が完了し、令和6年度の積上げに向けて復旧方針の策定や詳細設計を実施し、文化庁への現状変更許可申請を行った。 城泊事業では、宿泊施設となる延寿閣別館の改修や庭園整備、また天守、大手一の門をはじめとする城内の環境整備を行い、必要な家具、調度品を調達した。さらに実証実験により問題点の洗い出しを行う等、令和6年度からの事業開始に向けての各種準備を進めることができた。 快天山古墳では、発掘調査による調査成果を現地見学会や市民報告会にて広く周知したほか、笠島伝統的建造物群保存地区では、防災倉庫を整備するなど、引き続き地区内の防災施設の充実を図った。 資料館では、収蔵資料を活用した歴史と美術分野の企画展を実施したほか、館内照明をLED化することにより省エネルギー及び温室効果ガスの排出軽減に努めた。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業	主要な成果 該当ページ
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 8 資料館費
文化財保存活用課	C	1 資料館管理運営費	302
文化財保存活用課	C	2 京極家資料調査・修復等事業費	304
文化財保存活用課	C	3 資料館施設整備費	304

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	12	史跡等整備費
文化財保存活用課	C	2	文化財保護事業費					307
文化財保存活用課	C	3	埋蔵文化財調査事業費（公共）					308
文化財保存活用課	C	4	埋蔵文化財調査事業費（単独）					308
文化財保存活用課	C	5	埋蔵文化財整理事務所施設費					309
文化財保存活用課	C	6	城泊事業準備事業費					309
文化財保存活用課	C	7	史跡丸亀城跡整備推進費					310
文化財保存活用課	C	8	まち並保存推進費					310
文化財保存活用課	C	9	丸亀城石垣保全調査事業費					311
文化財保存活用課	C	10	古墳等整備推進費					311
文化財保存活用課	C	11	丸亀城保存整備費（公共事業）					312
文化財保存活用課	C	12	丸亀城保存整備費（公共・繰越明許費）					312
文化財保存活用課	C	13	丸亀城保存整備費（単独事業）					313
文化財保存活用課	C	14	まち並保存事業費（公共事業）					314
文化財保存活用課	C	15	まち並保存事業費（単独事業）					314
文化財保存活用課	C	16	史跡快天山古墳整備事業費（公共事業）					315
文化財保存活用課	C	17	市指定文化財整備事業費					315
文化財保存活用課	C	18	丸亀城石垣保全整備事業費（公共）					316
文化財保存活用課	C	19	丸亀城石垣保全整備事業費（単独）					316
文化財保存活用課	C	20	丸亀城天守耐震診断事業費（繰越明許費）					317
文化財保存活用課	C	21	埋蔵文化財調査事業費（単独・繰越明許費）					317

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	22	文化芸術の振興

目指す姿

文化協会や若手芸術家などの文化活動を支えながら、市民の誰もが文化芸術に親しむ機会を充実させ、豊かに暮らせる活気に満ちたまちを目指します。

指 標 内 容	基準値	進 捗 状 況					目標値
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025
No.54 文化施設を拠点とした文化芸術の振興							
美術館の利用者数	138,159人 (H29)	66,956 人	100,667 人	112,893 人			140,000 人
丸亀市綾歌総合文化会館の利用者数	131,878人 (R1)	48,983 人	99,361 人	131,278 人			150,000 人
No.55 多様な主体と連携した文化芸術の振興							
アウトリーチ事業への参加者数	5,079人 (R1)	1,159 人	5,320 人	2,094 人			5,500 人
No.56 瀬戸内国際芸術祭との連携							
瀬戸内国際芸術祭本島会場への来場者数	27,469人 (R1)	—	17,679 人	—			28,000 人
No.57 新市民会館の整備							
新市民会館の供用開始	—	1%	1%	15%			R8.9

成果指標の推移

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
協働推進部	C	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した文化施設の利用者数は回復傾向にある。アウトリーチ事業への参加者数は、瀬戸内国際芸術祭が非開催年度であったため減少しているものの、小学校やコミュニティ、福祉施設など実施対象を更に広げて事業を展開している。今後も様々な主体による文化芸術活動の機会を拡張し、新しい価値やつながりの創造を具体的に実現できるよう、事業によって起こる変化や成果を意識して継続して取り組んでいく。 新市民会館の工事は建築工事他6工種に分けて発注し、令和8年2月末の完成を目指して、鋭意整備を進めている。また、管理運営を行う指定管理者を選定し、管理運営計画に基づいたマニュアルや運営実施体制の検討を行い、開館準備に取り組んでいる。今後は、サポーターやファシリテーターなど、様々な主体との協働を見据えて人材育成にも更に注力して取り組んでいく。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業	主要な成果 該当ページ
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 9 美術館費
まなび文化課 C	1	美術館管理運営費	305
まなび文化課 C	2	美術館施設整備費	305
まなび文化課 C	3	美術館施設整備費（繰越明許費）	306
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 13 文化振興費
まなび文化課 C	1	瀬戸内文化芸術支援事業費	318
まなび文化課 C	2	文化芸術振興事業費	318
まなび文化課 C	3	「津島寿一」文化振興補助金	320
まなび文化課 C	4	瀬戸内国際芸術祭事業費	321

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	14	市民会館費
まなび文化課	C	1	綾歌総合文化会館管理運営費					322
まなび文化課	C	2	新市民会館整備事業費					322
まなび文化課	C	3	新市民会館開館準備事業費					323
まなび文化課	C	4	綾歌総合文化会館施設整備費					324
まなび文化課	C	5	新市民会館建設事業費					324
まなび文化課	C	6	新市民会館建設事業費（繰越明許費）					325

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	23	生涯学習活動の推進

目指す姿

市民一人ひとりが生涯を通じて学び、活躍できる機会を充実させ、学んだ知識や能力を地域で活かすことができるよう、生涯学習の基盤づくりを推進します。

指標内容	基準値	進捗状況					目標値
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025
No.58 地域学校協働活動の推進、No.1 コミュニティ・スクールの推進（再掲）							
地域コーディネーター養成者数	12人	10人	9人	3人			12人
家庭教育事業参加者数	3,125人	1,146人	1,794人	1,999人			3,500人
No.59 生涯学習機会の充実							
市民学級の参加者数	461人	556人	618人	750人			600人
生涯学習人材バンク登録者数（累計）	—	—	55人	51人			100人
児童図書の貸出冊数	312,865冊	338,039冊	316,479冊	292,625冊			360,000冊
図書館の1日平均利用者 （①中央②綾歌③飯山）	①399人 ②58人 ③494人	①366人 ②58人 ③481人	①396人 ②56人 ③471人	①425人 ②57人 ③477人			①580人 ②100人 ③740人
図書の総貸出数	678,829冊	717,847冊	678,267冊	649,123冊			780,000冊

成果指標の推移

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
協働推進部	C	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した市民学級や地域いきいき講座の受講者数は回復傾向にある。市においては、地域学校協働活動を推進する中で、地域全体で子どもを育てる活動の支援を進めているが、地域コーディネーターの担い手や地域における活動人材の確保が課題となっている。引き続き、人材発掘・育成を目的とした講座や情報共有の場を設定するなど、実践的な取組を実施する。 生涯学習センター閉館に伴い、現状の学習機会を確保するため、代替施設の検討や事業内容の精査を継続する。 また、学習成果を地域活動や社会課題解決につなげる取組については、次期生涯学習推進計画の改定や新市民会館開館準備に併せて検討を進める。 図書館の3館連携事業として絵本の読み聞かせ研修会を実施し、読み聞かせに興味関心がある方に対して、子どもたちが読書に親しむきっかけづくりに携わることができるよう努めた。また夏休みの全日開館の実施、庁内各課と連携した情報発信や中高生向けの展示等を実施し幅広い世代の利用につながったと考える。今後も利用者ニーズに対応できる図書館サービスの提供について調査研究し、利用拡大を図っていく。

【事務事業評価】

【事務事業計画】

担当課		評価	予算事業				主要な成果 該当ページ	
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まなび文化課	C	3	社会教育管理費					284
まなび文化課	C	4	社会教育支援事業費					284
まなび文化課	C	6	二十歳の成人式開催事業費					286
まなび文化課	C	7	生涯学習推進事業費					286
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
まなび文化課	C	1	公民館管理運営費					292
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	7	図書館費
図書館	C	1	図書館管理運営費					296
図書館	C	2	子ども読書活動推進事業費					297
図書館	C	3	図書館サービス推進事業費					297
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	15	学習センター費
まなび文化課	C	1	学習センター施設管理運営費					326

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	28	市民参画と協働の推進

目指す姿

成果指標の推移

まちづくりへの市民参画を推進し、市民と行政が地域の課題解決に向けて互いを理解・尊重し合い、普段からまちづくりに参加できる機会を創出しながら、「協働のまちづくり」を目指します。

指 標 内 容	基準値	進 捗 状 況					目標値
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025
No.72 自治基本条例の推進							
丸亀市自治基本条例を知っている市民の割合	31.3%	—	—	—			↑ (R7)
No.73 市民交流活動センター（マルタス）の活用							
マルタス来館者数	26,324人 (R3.3.22 ～31)	575,003 人	768,328 人	796,749 人			70万人
市民活動登録数	129件	216件	264件	246件			180件
市民活動者交流会参加者数	—	43人	54人	75人			25人
No.74 主権者教育の推進							
若い世代の投票率	22.82% (R1参議)	29.17%	21.29%	17.01%			35%

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市長公室	C	デジタルを活用した市民参画手法として導入したeモニター制度については、登録者等の意見を踏まえ、より参画しやすくなるよう見直しを行った。手軽な市民参画として登録者の満足度は高い一方で、登録者数は伸び悩んでおり、新たな登録促進策を検討する必要がある。今後も市民参画や協働につながるよう、制度の有効活用に努めたい。
協働推進部	C	自治基本条例の認知度向上の取組として、学校の授業で活用している様子を広報紙に掲載等を行った。継続して条例の認知啓発を図るとともに、市民参画や協働推進につながるよう努める。 マルタスが集える施設として認識され、市民活動の場としての利用に加え、セミナー等の開催や相談業務に重点を置いた取組により、活動の公益性の向上や団体の組織力強化を図った。引き続き、市民活動団体等の支援に注力し、マルタスが拠点となり多様な主体の連携を促進することで、地域課題の解決に向けた活動が活発となるよう努めたい。
産業生活部	C	市民が日常生活の問題について気軽に相談できる市民相談員の配置や、香川県宅地建物取引協会と連携し、不動産に関する相談を実施する等、様々な相談機会を設け、市民の問題解決につなげた。今後とも市民ニーズに対応できる相談体制の整備に努める。

議会事務局	C	議会基本条例に掲げる「市民に開かれた議会」を目指し、委員会会議録をホームページ上で公開するとともに、新たに運用を開始した市公式LINEにより会議の案内を行うなど、市民への積極的な情報配信に努めた。 また、タブレット端末の更新を機に新しい利活用方法を調査研究し、タイムリーな情報提供や、より円滑な情報共有ができる環境を整備した。今後とも、市民の負託に応えることができるよう、議会活動の充実に努めたい。
総務部（選挙管理委員会事務局）	C	適正な選挙事務を遂行するとともに、SNSやホームページによる情報発信や、選挙時におけるコミュニティバス乗車無料キャンペーン、投票所での啓発のうちわの配布など選挙啓発に努めた。投票率が低迷している若い世代の投票率向上のため、出前授業や二十歳の成人式会場での啓発を行ったほか、教育委員会と連携し、主権者としての自覚や社会参画を促進できるよう主権者教育を推進した。今後は10代20代の市民との意見交換会も実施する。また、投票環境の改善を図り、有権者の利便性を高めるため、商業施設での期日前投票実施に向けて準備を行う。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業				主要な成果 該当ページ
款 1 議会費		項 1 議会費		目 1 議会費		
議会事務局 C		1 議会管理費				21
款 2 総務費		項 1 総務管理費		目 8 企画費		
政策課 C		5 自治推進事業費				45
地域づくり課 C		5 自治推進事業費				45
款 2 総務費		項 1 総務管理費		目 14 生活振興費		
地域づくり課 C		3 地域市民活動促進事業費				58
地域づくり課 C		5 市民交流活動センター施設管理運営費				59
生活環境課 C		7 無料法律相談事業費				60
生活環境課 C		8 市民・行政相談事業費				61
款 2 総務費		項 4 選挙費		目 1 選挙管理委員会費		
選挙管理委員会事務局 C		1 選挙管理委員会費				88
款 2 総務費		項 4 選挙費		目 2 選挙啓発費		
選挙管理委員会事務局 C		1 選挙啓発事業費				89
款 2 総務費		項 4 選挙費		目 3 選挙費		
選挙管理委員会事務局 C		1 県議会議員選挙費				90

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	29	地域コミュニティの活性化

目指す姿	地域による主体的なまちづくりの実現を図るため、コミュニティ活動を支援し、活性化を図りながら、地域課題への対応を共に進められる社会を目指します。							
成果指標の推移	指標内容	基準値 2020	進捗状況					目標値 2025
		2021	2022	2023	2024	2025		
	No.75 コミュニティ活動の活性化と自治会加入促進							
	コミュニティセンターの利用者数	254,632人 (R1)	171,019人	233,161人	234,377人			290,000人
	コミュニティ表彰（まちづくり大賞）応募地区数	3地区	6地区	4地区	4地区			6地区
	自治会加入率	50.5%	49.8%	47.9%	46.4%			現状維持

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
協働推進部	C	コミュニティは、運営助成金やまちづくり補助金を活用し、地域性を活かした独自のまちづくりを推進しているが、コミュニティの基盤組織である自治会の加入率は年々減少傾向である。自治会に対しては、育成費補助金や自治会活動応援補助金等の助成に加え、令和5年度は自治会の異動手続に電子申請を追加し、事務手続の軽減化を図った。引き続き、自治会加入推進員を活用し、自治会未加入世帯への加入を働きかけるとともに、自治会活動が安心して継続できるよう相談・啓発業務にも取り組み、自治会加入率の維持・向上を図る。 地域の活動もコロナ禍以前のように活発に行われ、地域力が高められてきているため、引き続き支援を行う。 また、地域の活動拠点となるコミュニティセンターについては、利用者が安心して利用できる施設となるよう、耐震性が不足する施設の整備を計画的に進めていく。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業				主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 14 生活振興費			
地域づくり課 D	4	自治会振興費				58
地域づくり課 C	6	生活振興施設整備費				60
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 16 コミュニティ費			
地域づくり課 C	1	コミュニティセンター運営費				64
地域づくり課 C	2	コミュニティ推進費				65
地域づくり課 C	3	コミュニティセンター整備事業費				65
地域づくり課 C	4	コミュニティセンター施設整備費（繰越明許費）				66

